鉄骨構造工作標準図

§　1　一般事項

1－1
使用材料

・使用材料は　構造図による。

1－2
鉄骨加工業者

・鉄骨加工業者は　社団法人全国橋構工業協会（ＪＳＦＡ）加盟の大臣認定取得の工場とする。

延床面積	５００㎡以下	３０００㎡以下	制限なし	
グレード	Ｊグレード	Ｒグレード	Ｍグレード	Ｈグレード
種類	４００Ｎ	４９０Ｎまで	４９０Ｎまで	５２０Ｎまで
板厚	１６㎜以下	２５㎜以下	４０㎜以下	６０㎜以下
通しダイヤフラム	４９０Ｎまで ２２㎜以下	３２㎜以下	５０㎜以下	７０㎜以下
ベースプレート	４９０Ｎまで ５０㎜以下	５０㎜以下	制限なし	制限なし

1－3
その他

・設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
・本標準図における単位はすべて㎜とする。
・精度に関しては「鉄骨工事精度標準（日本建築学会編）」による。
・防錆塗装はＪＩＳ　Ｋ５６２１～Ｋ５６３３による。

§　2　共通事項

2－1
略号

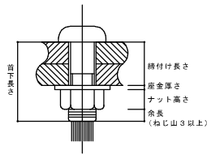
・ＡＢ ―― アンカーボルト
・ＢＰ ―― ベースプレート
・ＤＦＰ ―― ダイヤフラム
・ＦＰ ―― フランジプレート
・ＨＴＢ ―― 高力ボルト
・ＳＰ ―― スプライスプレート
・ＷＰ ―― ウェブプレート
・ＢＨ ―― 組立てＨ形鋼
・ＣＨＰ ―― チェッカープレート
・ＦＢ ―― フラットバー
・ＧＰ ―― ガセットプレート
・ＲＰ ―― リブプレート
・ＴＢ ―― ターンバックル
・Ｗ１－５ ―― 溶接記号（§４参照）

§　3　ボルト接合

3－1
ＨＴＢ

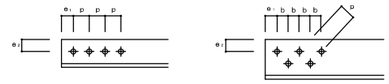
ボルトの所要長さ

ねじの呼び	締付け長さに加える長さ	
	Ｆ１０Ｔ	Ｓ１０Ｔ
Ｍ１６	３０㎜	２５㎜
Ｍ２０	３５㎜	３０㎜
Ｍ２２	４０㎜	３５㎜
Ｍ２４	４５㎜	４０㎜



（ａ）特記以外は全てＦ１０Ｔ又はＳ１０Ｔ（特殊高力ボルト、右図）とする。
（ｂ）本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの使用はしてはならない。
（ｃ）ボルトの接合面の処理は締付け摩擦面の母材においては平グラインダー掛け、スプライスプレートにおいてはショット掛けを行ない、黒皮を除去して一様に赤さびを生じさせる。又、締付けは一次締付け後マーキングを入れて本締めをする。

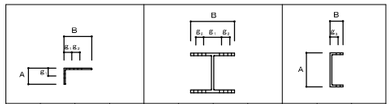
3－2
ＨＴＢのピッチ



呼び径			Ｍ１６	Ｍ２０	Ｍ２２	Ｍ２４
孔径			１８	２２	２４	２６
ピッチ	標準	p	６０	６０	６０	７０
	最小		４０	５０	５５	６０
はしあき		e_1	４０	４０（５０）	４０（５５）	５０（６０）
へりあき		e_2	２５	３０	３５	４０

・（　）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。
手作業によるガス切断を行なう場合はe_1は上表の数値＋５とする。

3－3
形鋼のゲージ

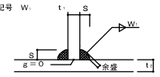


Ａ or Ｂ	g_1	g_2	最大軸径	Ｂ	g_1	g_2	最大軸径	Ｂ	g_1	最大軸径
＊＊５０	３０		１６	＊＊１００	６０		１６	＊＊５０	３０	１６
６０	３５		１６	１２５	７５		１６	６５	３５	２０
６５	３５		２０	１５０	９０		２２	７０	４０	２０
７０	４０		２０	１７５	１０５		２２	７５	４０	２２
７５	４０		２２	２００	１２０		２４	８０	４５	２２
８０	４５		２２	２５０	１５０		２４	９０	５０	２４
９０	５０		２４	＊３００	１５０	４０	２４	１００	５５	２４
１００	５５		２４	３５０	１４０	７０	２４			
１２５	５０	３５	２４	４００	１４０	９０	２４			
１３０	５０	４０	２４							
１５０	５５	５５	２４							
１７５	６０	７０	２４							
２００	６０	９０	２４							

＊Ｂ＝３００は千鳥打ちとする。
＊＊印の欄のg_1および最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

§　4　溶接接合

4－1
隅肉溶接

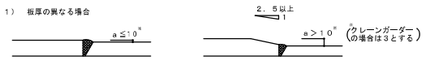


脚長（Ｓ）
０≦Ｓ′－Ｓ≦３　　Ｓ＝設計サイズ
Ｓ′＝実際サイズ
余盛
（０．１Ｓ＋１）以下

ｔ：t_1とt_2の小さい方	６以下	９	１２	１４	１６	１９	
Ｓ≧０．７ｔ	ｔ	７	９	１０	１２	１４	

4－2
完全溶込み溶接
（突合せ溶接）

1）　板厚の異なる場合

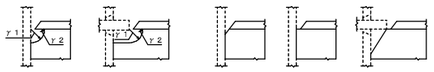


2）　エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ（ｌ）は３５以上かつ薄い方の板厚の２倍以上とする。

※フランジ端部の溶接は、バックステップは禁止し、フランジ外側から溶接を始めること。
フランジ端部より外側に15㎜程度以上増量で き且つ、パスの数及び形状が確認できるものを標準仕様とする。
参考：E6アークタブ（旭化成建材）等

3）　開先加工



スカーラップの開先加工　　ノンスカーラップの開先加工

・スカーラップを設ける場合、スカーラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。
γ１は３５㎜程度、γ２は１０㎜程度とする。
なお複合円は滑らかに仕上げること。
・突き合わせ溶接部以外のスカーラップはγ＝２５程度とする。

4）　開先形状

記号	形状	適用板厚	寸法	手溶接	半自動溶接
Ｗ₁ ＭＣ－ＢＬ－Ｂ１ ＧＣ－ＢＬ－Ｂ１	裏当て 19以上 9以上（ｔ≦12の場合は６以上）	６＜ｔ≦１２	g	7^{+2}_{-1}	6^{+2}_{-1}
			γ	２	２
			α_1	≧４５°	≧４５°
		１２＜ｔ≦４０	g	9^{+2}_{-1}	7^{+2}_{-1}
			γ	２	２
			α_1	≧３５°	≧３５°
Ｗ₁ ＭＣ－ＢＬ－２ ＧＣ－ＢＬ－２	裏はつり	６＜ｔ≦１９	g	0^{+3}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			γ	２	２
			α_1	≧４５°	≧４５°
Ｗ₁ ＭＣ－ＢＫ－２ ＧＣ－ＢＫ－２	裏はつり	１９＜ｔ≦４０	g	0^{+3}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			d_1	$\frac{2}{3}$（ｔ－γ）	$\frac{2}{3}$（ｔ－γ）
			γ	２	２
			d_2	$\frac{1}{3}$（ｔ－γ）	$\frac{1}{3}$（ｔ－γ）
			α_1	≧４５°	≧４５°
			α_2	≧６０°	≧６０°
Ｗ₁ ＭＣ－ＢＩ－Ｂ１ ＧＣ－ＢＩ－Ｂ１	裏当て FB－4．5×19	１≦６	g	５±１	１±１

ＭＣ　…　は手溶接　　ＧＣ　…　は半自動溶接の記号を示す。

4－3
溶接部の検査

1　外観及び表面欠陥の検査は原則として目視により全ての溶接線に対して行うこと。
2　柱、梁のフランジ突き合わせ溶接部の内部欠陥の検査は原則として超音波探傷試験による。
3　検査規準及び合否判定は日本建築学会編「鋼構造建築溶接合部の超音波探傷検査基準」による。
4　工場溶接に対し第三者機関による検査箇所数は下表による（但し柱内検査は１００％行うこと）。

検査段階	１	２	３
検査箇所数	３０％以上	６０％以上	１００％
第１節	スタート		
第２節			
第３節	以下、上記の方法を繰り返すこと。		

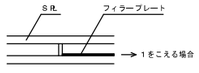
○←○　不合格率　５％　未満の場合
○⇒○　不合格率　５％　以上の場合

5　現場溶接の場合は第三者機関による検査を１００％　行う。
6　不合格と判定された溶接部は全て補正をすること。

5－1
継手部

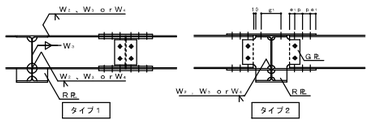
§　5　継　手

フィラープレート
ＦＰ．ＷＰ．面で段差が１をこえる場合は、フィラープレートを入れる。



5－2
小梁仕口

・ピン接合は小梁仕口リストによる。



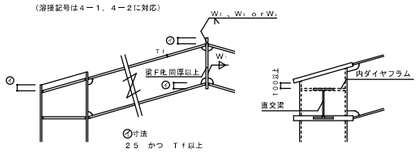
・ＧＰ．、ＲＰは小梁のＷＰと同厚以上とする。　　・継手プレート及びＨＴＢはリストによる。

剛接合

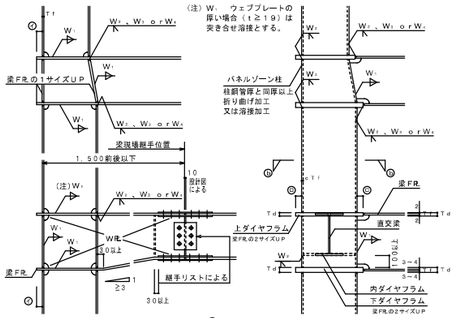
§　6　柱梁接合部および継手

（溶接記号は４－１，４－２に対応）

6－1
勾配屋根

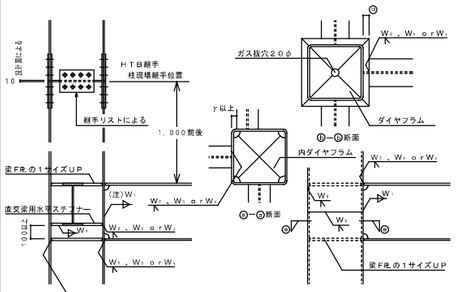


6－2
梁通し



6－3
雑仕様

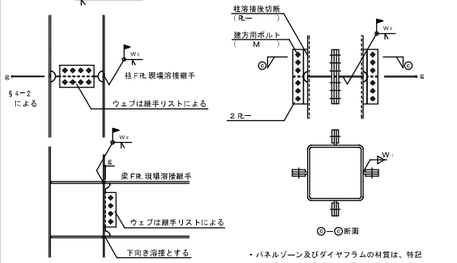
6－4
柱通し



・現場溶接を行なう場合は係員の承認を得ること。

柱Ｈ形鋼の場合

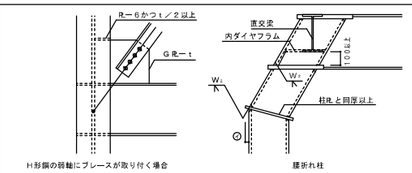
6－5
現場溶接継手



・パネルゾーン及びダイヤフラムの材質は、特記なき限り、接続する柱及び梁と同材質とする。
又、接続する柱及び梁の材質の異なる場合は、強度及び材質共大きい方の材料とする。

柱角形鋼管の場合

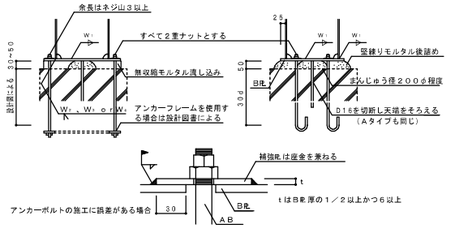
6－6
その他



H形鋼の弱軸にブレースが取り付く場合　　屈折れ柱
柱Ｈ形鋼の場合　　柱角形鋼管の場合

§　7　柱　脚

7－1
一般柱脚

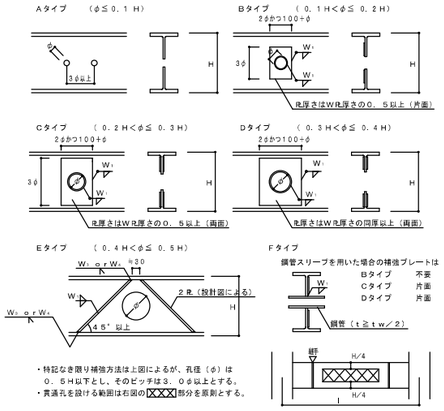


7－2
認定柱脚

・　認定柱脚を使用する場合はメーカー仕様による。

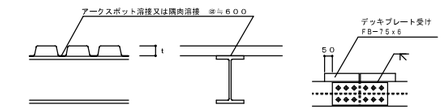
§　8　その他

8－1
貫通補強



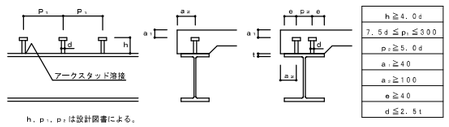
・特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は０．５Ｈ以下とし、そのピッチは３．０φ以上とする。
・貫通孔を設ける範囲は右図の▨部分を原則とする。

8－2
デッキプレート



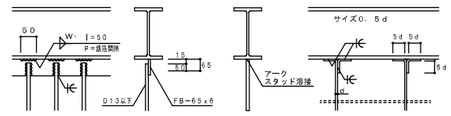
8－3
スタッドジベル

・　合成スラブの場合はメーカー仕様による。



h，p₁，p₂は設計図書による。

8－4
壁筋の溶接



工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事						No. S-05
図面名	コンテナ置場_鉄骨構造工作標準図				縮尺 non scale		
岡山市市場事業部					令和７年４月		
建築	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	株式会社U．D．D設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 岡山市南方２丁目３番１２号 一級建築士事務所登録　東第１２１４７号 一級建築士　第３７８８４９号 中田　智之
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認　検図　製図

構造設計担当者
構造一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

ジャストベース（ＪＥⅡ型）柱脚工法設計施工標準図

（財）日本建築センターＢＣＪ評定－ＳＴ０１５３－０８（令和４年１０月２１日付）　　（角形鋼管仕様）

資料番号：ＪＢ（ＪＥⅡ）－０４－０１

コトブキ技研工業株式会社
広　島　TEL 0823-70-0721　FAX 0823-70-0722

適用条件

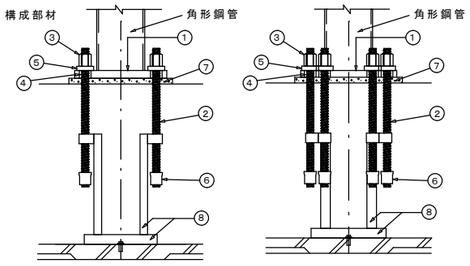
- ●柱材：角形鋼管（Ｆ値 235N/mm2）－ STKR400, BCP235, SHC400B・C
  （Ｆ値 295N/mm2）－ BCR295, JBCR295, TSC295
  （Ｆ値 325N/mm2）－ STKR490, BCP325, BCP325T, SHC490B・C
- ●基礎コンクリート：普通コンクリート（21・24N/mm2）以上　30N/mm2以下
- ●鉄筋：異形鉄筋　SD295(D13, D16)　SD345(D19～D25)

設計・施工

- ●柱脚の選定：別冊「ジャストベースカタログ」により設計者が選定する。
- ●ベースプレートの溶接：別冊「工場製作管理要領書」により鉄骨製作工場にて溶接を行う。
- ●現場施工：別冊「ジャストベース施工ガイド」によりジャストベース認定施工業者が行う。

１．柱脚構成部材及び基礎廻り標準図

１．１　構成部材



【アンカーボルト４本タイプ】　【アンカーボルト８本タイプ】

①	ベースプレート	⑤	座金
②	アンカーボルト	⑥	定着ナット及び固定用クサビ
③	ロックナット及び固定用クサビ	⑦	無収縮モルタル
④	ジャストリング	⑧	フレーム部材（テンプレート含む）

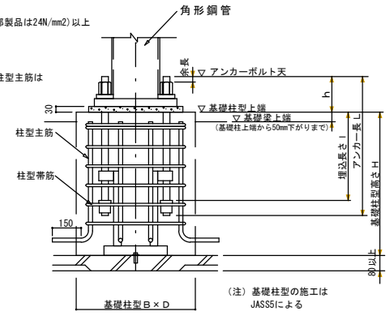
（注）１２本アンカーボルトタイプの図は省略

１．２　基礎廻りの標準図

※設計基準強度(Fc)は21N/mm2(一部製品は24N/mm2)以上30N/mm2以下の範囲です。

※ジャストベース(JEⅡ型)工法の柱型主筋は頂部フックが不要です。

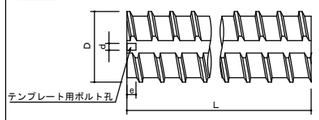
※トップフープはダブルフープ。



（注）基礎柱型の施工はJASS5による

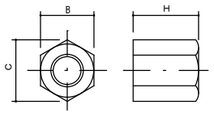
２．アンカーボルト・ロックナット・定着ナット・座金・ジャストリング

２．１　アンカーボルト（材質：ＪＢ-ＳＤ３９０・ＪＢ-ＳＤ４９０）



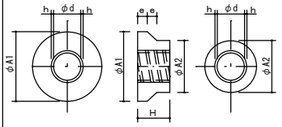
呼径	D	L	d	e
D29(SD490)	31.7	660	M8	20
D35(SD390)	38.1	720	M8	20
D35(SD490)	38.1	725	M8	20
D38(SD490)	41.9	785	M8	20
D41(SD490)	45.4	880	M8	20
D51(SD390)	57.5	990	M8	20

２．２　ロックナット（材質：Ｓ４５Ｃ　熱処理Ｈ）



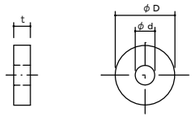
呼径	B	C	H
Ｄ２９	46	53.1	56
Ｄ３５	55	63.5	64
Ｄ３８	60	69.3	64
Ｄ４１	65	75.0	64
Ｄ５１	80	92.4	76

２．３　定着ナット（材質：Ｓ４５Ｃ　熱処理Ｈ）



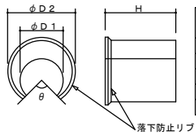
呼径	φA1	φA2	H	φd	h	e
Ｄ２９	54	47	56	28.3	2.95	10
Ｄ３５	64	58	64	34.3	3.30	10
Ｄ３８	69	63	64	37.5	3.55	10
Ｄ４１	74	69	64	40.3	3.65	10
Ｄ５１	95	90	76	50.0	4.50	10

２．４　座金（材質：ＳＳ４００）



呼径	φD	φd	t
Ｄ２９	74	34	19
Ｄ３５	88	41	22
Ｄ３８	94	45	25
Ｄ４１	100	48	25
Ｄ５１	119	59	28

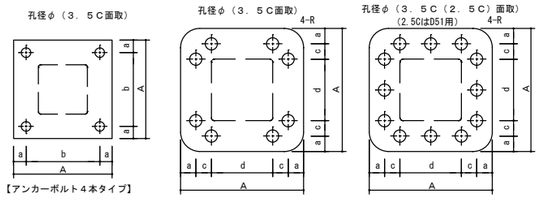
２．５　ジャストリング（材質：Ｓ２５Ｃ又はＦＣＤ４５０－１０）



呼径	外リング φD2	外リング φD1	内リング φD2	内リング φD1	H	θ
Ｄ２９	51.0	42.8	42.3	33.5	26	110
Ｄ３５	59.0	49.8	49.2	40.0	32.40	110
Ｄ３８	65.0	54.9	54.2	44.0	48	110
Ｄ４１	69.0	58.8	58.0	47.5	56	110
Ｄ５１	84.5	72.4	71.6	59.5	64.5	90

３．ベースプレート

３．１　ベースプレート（材質：ＳＮ４９０Ｂ又はＴＭＣＰ３２５Ｂ）



【アンカーボルト４本タイプ】　【アンカーボルト８本タイプ】　【アンカーボルト１２本タイプ】

ジャストベース製品記号	タイプ	材質	t	A	a	b	c	d	φ	コーナーR
J150-12N	４本	SN490B	28	300	45	210	—	—	52	—
J175-12N	４本	SN490B	32	325	45	235	—	—	52	—
J200-09N	４本	SN490B	32	350	45	260	—	—	52	—
J200-12N	４本	SN490B	32	380	55	270	—	—	60	—
J250-09N	４本	SN490B	36	430	55	320	—	—	60	—
J250-12N	４本	SN490B	40	430	55	320	—	—	60	—
J250-16N	８本	SN490B	40	480	50	—	75	230	60	80
J300-09N	４本	SN490B	40	480	55	370	—	—	60	—
J300-12N	８本	SN490B	36	510	45	—	65	290	52	80
J300-16N	８本	SN490B	40	540	60	—	75	270	60	80
J300-19N	８本	TMCP325B	45	540	60	—	75	270	60	80
J350-12N	８本	SN490B	40	580	55	—	75	320	60	80
J350-16N	８本	TMCP325B	50	600	55	—	75	340	60	80
J350-19N	８本	TMCP325B	50	640	75	—	85	320	66	80
J350-22N	８本	TMCP325B	55	640	70	—	95	310	70	80
J400-12N	８本	SN490B	40	640	60	—	75	370	60	80
J400-16N	８本	TMCP325B	45	670	70	—	85	360	66	80
J400-19N	８本	TMCP325B	50	710	75	—	95	370	70	80
J400-22N	12本	TMCP325B	60	710	70	—	85	400	66	80
J400-25N	12本	TMCP325B	60	710	70	—	85	400	66	80
J450-16N	12本	TMCP325B	50	710	65	—	85	410	66	80
J450-19N	12本	TMCP325B	55	740	75	—	85	420	66	80
J450-22N	12本	TMCP325B	60	760	80	—	95	410	70	80
J450-25N	12本	TMCP325B	60	760	80	—	95	410	70	80
J500-19N	12本	TMCP325B	55	800	80	—	95	450	70	80
J500-22N	12本	TMCP325B	60	840	85	—	95	480	70	80
J500-25N	12本	TMCP325B	65	840	85	—	105	460	85	80
J550-19N	12本	TMCP325B	60	850	75	—	95	510	70	80
J550-22N	12本	TMCP325B	65	920	75	—	95	580	70	80
J550-25N	12本	TMCP325B	65	920	90	—	105	530	85	80

４．溶接施工

４．１　溶接

●角型鋼管のベースプレートへの溶接は突合せ溶接とする。
開先条件はＪＡＳＳ６に準じ下表による。

■溶接方法（突合せ溶接）　　突合せ溶接の開先標準

種類	図	柱部材の適用板厚 t（mm）	ルート間隔G（mm） 標準値	ルート間隔G（mm） 許容差	ルート面R（mm） 標準値	ルート面R（mm） 許容差	開先角度α1（度） 標準値	開先角度α1（度） 許容差
被覆アーク溶接	ベースプレート	６以上	7	-2・＋∞	2	-2・+1	45	-2.5・＋∞
			9				35	
ガスシールドアーク溶接		６以上	6	-2・＋∞	2	-2・+1	45	-2.5・＋∞
			7				35	

※溶接姿勢は下向きを原則とする

４．２　溶接部の検査

●超音波探傷検査とし、合否の判定は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」による。

５．現場施工

特記以外は元請会社の施工とする。

５．１　捨てコンクリート地業（元請施工）

●基礎柱型下部の捨てコンクリートは厚さ８０mm以上とし、上面をコテで平滑に仕上げる。上面レベルのチェックを行う。

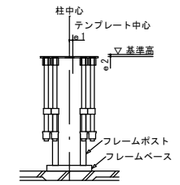
５．２　フレーム及びアンカーボルトの設置（※１）

①フレームベース設置：柱中心地墨に対し、平面位置を調整する。レベル調整用ボルトでフレームベースを水平にする。

②アンカーボルト設置：フレームポスト上部の部材にアンカー調整ボルトにて固定し垂直を確認する。

③テンプレート設置　：テンプレートをアンカーボルトに上部からボルトにて固定し、テンプレート中心線を、柱中心地墨に調整後、フレームベースをホールインアンカーで固定する。

④定着ナット固定措置　：定着ナットをアンカーボルト下部位置に取り付け、アンカーボルトと定着ナットの隙間に鋼製クサビを打ち込む。



許容誤差	
	－５≦ｅ１≦５
	－５≦ｅ２≦５

５．３　基礎柱型配筋及びコンクリート打設（元請施工）

５．４　鉄骨柱の建入れ（元請施工）

５．５　ジャストリング設置及びロックナット本締め（元請施工）

●ジャストリングを全数設置し、レンチ等でロックナットを本締めする。
トルク値は３００Ｎ・ｍとする。（マーキング等による確認推奨）

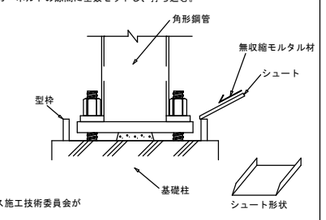
５．６　固定用クサビの設置（元請施工）

●鋼製クサビをロックナットとアンカーボルトの隙間に全数セットし、打ち込む。

５．７　無収縮モルタル注入

①無収縮モルタル用型枠施工（元請施工）

②基礎コンクリート清掃・水洗いの後、無収縮モルタルをシュートにより一方向から注入する。（※１）



※１：現場施工及び施工管理は、ジャストベース施工技術委員会が認定した有資格者が行う。

ジャストベース（ＪＥⅡ型）柱脚工法（角形鋼管）標準仕様一覧表

適用（○印）	ジャストベース製品記号	適用角形鋼管（該当するＦ値　○印）　※（　）はＢＣＰのみ適用 サイズ	F=235N/mm2	F=295N/mm2	F=325N/mm2	柱脚構成部材 アンカーボルト 本数-呼径×L	アンカーボルト 材質	アンカーボルト h	ベースプレート t×A×A	座金 t×φD	ＲＣ基礎柱型（下記の寸法・配筋とする） 寸法（mm） B×D（標準寸法）	寸法（mm） B×D（最大寸法）	H 以上	主筋	帯筋	設計基準強度 Fc（N/mm2）	柱脚回転剛性 kN・m/rad	備考
	J150-12N	150×150	6・9・12	6・9・12	6・9	4-D29×660	SD490	165	28×300×300	19×74	500×500	620×620	550	12-D16	D13 @ 150	21以上 30以下	12,000	
	J175-12N	175×175	6・9・12	6・9・12	6・9	4-D29×660	SD490	165	32×325×325	19×74	530×530	650×650	550	12-D16	D13 @ 150	21以上 30以下	17,000	
○	J200-09N	200×200	6・8・9	6・8・◎	6・8	4-D29×660	SD490	165	32×350×350	19×74	550×550	670×670	600	12-D16	D13 @ 150	21以上 30以下	21,000	
	J200-12N		6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	4-D35×720	SD390	180	32×380×380	22×88	560×560	680×680	600	12-D19	D13 @ 150	21以上 30以下	30,000	
	J250-09N	250×250	6・8・9	6・8・9	6・8	4-D35×720	SD390	180	36×430×430	22×88	620×620	740×740	600	12-D19	D13 @ 150	21以上 30以下	47,000	
	J250-12N		6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	4-D35×725	SD490	185	40×430×430	22×88	620×620	740×740	600	12-D19	D13 @ 150	21以上 30以下	47,000	
	J250-16N		6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16	6・8・9・12	8-D35×720	SD390	180	40×480×480	22×88	650×650	850×850	600	16-D22	D13 @ 150	21以上 30以下	61,000	
	J300-09N	300×300	6・8・9・（12）	6・8・9	6・（9）	4-D35×725	SD490	185	40×480×480	22×88	680×680	800×800	600	12-D19	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	66,000	
	J300-12N		6・8・9・12・（16）	6・8・9・12	6・8・9・（12）	8-D29×660	SD490	165	36×510×510	19×74	700×700	900×900	600	12-D22	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	65,000	
	J300-16N		6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16	6・8・9・12・（16）	8-D35×720	SD390	180	40×540×540	22×88	740×740	940×940	600	12-D22	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	89,000	
	J300-19N		6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16・19	6・8・9・12・16・（19）	8-D35×725	SD490	185	45×540×540	22×88	740×740	940×940	600	16-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	90,000	
	J350-12N	350×350	9・12・（16）	9・12	9・（12）	8-D35×720	SD390	180	40×580×580	22×88	780×780	980×980	700	12-D22	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	119,000	
	J350-16N		9・12・16・19・（22）	9・12・14・16	9・12・（16）	8-D35×725	SD490	190	50×600×600	22×88	800×800	1,000×1,000	750	16-D22	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	129,000	
	J350-19N		9・12・16・19・22	9・12・14・16・19	9・12・16・（19）	8-D38×785	SD490	200	50×640×640	25×94	830×830	1,030×1,030	750	16-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	148,000	
	J350-22N		9・12・16・19・22	9・12・14・16・19・22	9・12・16・19・（22）	8-D41×880	SD490	210	55×640×640	25×100	830×830	1,030×1,030	750	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	156,000	
	J400-12N	400×400	9・12	9・12	9・（12）	8-D35×725	SD490	185	40×640×640	22×88	850×850	1,050×1,050	800	16-D22	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	159,000	
	J400-16N		9・12・16・19・（22）	9・12・14・16	9・12・（16）	8-D38×785	SD490	200	45×670×670	25×94	870×870	1,070×1,070	800	16-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	182,000	
	J400-19N		9・12・16・19・22・（25）	9・12・14・16・19	9・12・16・（19）	8-D41×880	SD490	210	50×710×710	25×100	900×900	1,100×1,100	800	20-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	207,000	
	J400-22N		9・12・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22	9・12・16・19・（22）	12-D38×785	SD490	200	60×710×710	25×94	900×900	1,100×1,100	800	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	220,000	
	J400-25N		9・12・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22・25	9・12・16・19・22・（25）	12-D38×785	SD490	200	60×710×710	25×94	920×920	1,120×1,120	800	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	219,000	
	J450-16N	450×450	9・12・16・19	9・12・14・16	9・12・（16）	12-D38×785	SD490	200	50×710×710	25×94	920×920	1,120×1,120	800	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	248,000	
	J450-19N		9・12・16・19・22・（25）	9・12・14・16・19	9・12・16・（19）	12-D38×785	SD490	200	55×740×740	25×94	950×950	1,150×1,150	800	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	266,000	
	J450-22N		9・12・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22	9・12・16・19・（22）	12-D41×880	SD490	210	60×760×760	25×100	1,000×1,000	1,200×1,200	800	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	289,000	
	J450-25N		9・12・16・19・22・25	9・12・14・16・19・22・25	9・12・16・19・22・（25）	12-D41×880	SD490	210	60×760×760	25×100	1,000×1,000	1,200×1,200	800	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	24以上 30以下	303,000	
	J500-19N	500×500	9・12・16・19・22・（25）	9・12・14・16・19	9・12・16・（19）	12-D41×880	SD490	210	55×800×800	25×100	1,000×1,000	1,200×1,200	800	24-D25	D13 @ 100 又は D16 @ 150	21以上 30以下	351,000	
	J500-22N		9・12・16・19・22・25・（28）	9・12・14・16・19・22	9・12・16・19・（22）	12-D41×880	SD490	210	60×840×840	25×100	1,050×1,050	1,250×1,250	850	24-D25	D16 @ 100	21以上 30以下	379,000	
	J500-25N		9・12・16・19・22・25・（28）・（32）	9・12・14・16・19・22・25	9・12・16・19・22・（25）	12-D51×990	SD390	230	65×840×840	28×119	1,050×1,050	1,250×1,250	850	32-D25	D16 @ 100	24以上 30以下	397,000	
	J550-19N	550×550	9・12・16・19・22・（25）	12・14・16・19	9・12・16・（19）	12-D41×880	SD490	210	60×850×850	25×100	1,080×1,080	1,280×1,280	850	24-D25	D16 @ 100	24以上 30以下	452,000	
	J550-22N		9・12・16・19・22・25・（28）	12・14・16・19・22	9・12・16・19・（22）	12-D41×880	SD490	210	65×920×920	25×100	1,130×1,130	1,330×1,330	850	24-D25	D16 @ 100	24以上 30以下	490,000	
	J550-25N		9・12・16・19・22・25・（28）・（32）	12・14・16・19・22・25	9・12・16・19・22・（25）	12-D51×990	SD390	230	65×920×920	28×119	1,130×1,130	1,330×1,330	850	32-D25	D16 @ 100	24以上 30以下	502,000	

備考

※本設計施工標準図に記載のジャストベース（JEⅡ型）角形鋼管仕様の製品は、BCJ評定-ST0153-07（平成30年11月16日付）に規定する製品記号の末尾が「K」の製品と柱脚構成部材、基礎柱型の形状・寸法・配筋仕様、及び柱脚の性能（曲げ耐力・せん断耐力・回転剛性等）が全て同一の製品です。（但し、J300-12Nを除きます）

参考図

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事		Ｎｏ．Ｓ－０６
図面名	ｺﾝﾃﾅ置場_ｼﾞｬｽﾄﾍﾞｰｽ(JEⅡ型)柱脚工法設計施工標準図	縮尺 non scale	
	岡山市市場事業部	令和７年４月	

建築	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者

設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検図	製図

株式会社Ｕ．Ｄ．Ｄ設計
株式会社ユー・ディ・ディ設計
岡山市南区古松一丁目３番１０号
Tel 086-223-2266 FAX 086-223-2262
一級建築士事務登録　岡第１２１４７号
一級建築士　第３７８８４９号
中田　智之

構造設計担当者
構造一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

Ver. 20200917

－既製コンクリート杭の杭頭接合技術－

パイルスタッド工法　設計・施工　標準図

（一財）日本建築センターによる建設技術審査証明（２０２０年度版）　ＢＣＪ－審査証明－７

パイルスタッド工法研究会

日本スタッドウェルディング株式会社
株式会社大谷工業
岡部株式会社

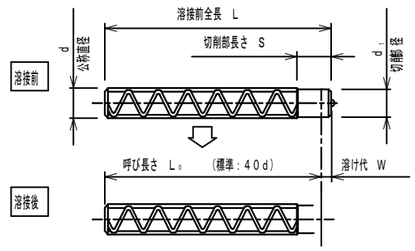
１．パイルスタッド工法概要

パイルスタッド工法は、溶接性に優れた異形棒鋼ＫＳＷ４９０を杭頭端板に直接スタッド溶接することにより、抗体に悪影響を及ぼすことがなく、抗体と基礎スラブとを接合する技術である。

２．使用材料

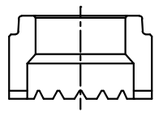
①パイルスタッド　（スタッド溶接専用異形棒鋼）

KSW490（JIS G 3112 SD345）



②フェルール

セラミック製の溶接補助材



パイルスタッドおよびフェルールの種類　（括弧内の寸法は、標準の呼び長さ４０ｄの場合）

サイズ	呼び名	各部寸法				適用フェルール *		
		ｄ１	L	W	S	岡部（株）	（株）大谷工業	日本スタッドウェルディング（株）
Ｄ１３	Ｄ１３×L。（ ５２０）	１３．０	L。+６（ ５２６）	２～６	１８	Ａ－１３	Ｄ－１３	１００－１０１－１１４
Ｄ１６	Ｄ１６×L。（ ６４０）	１６．０	L。+６（ ６４６）	２～６	２０	Ａ－１６	Ｄ－１６	１００－１０１－０１２
Ｄ１９	Ｄ１９×L。（ ７６０）	１９．１	L。+７（ ７６７）	３～７	２８	Ａ－１９	Ｄ－１９	１００－１０１－１５２
Ｄ２２	Ｄ２２×L。（ ８８０）	２２．２	L。+７（ ８８７）	３～７	３０	Ａ－２２	Ｄ－２２	１００－１０１－１４０
Ｄ２５	Ｄ２５×L。（１０００）	２５．４	L。+９（１００９）	５～９	３７	Ａ－２５	Ｄ－２５	１００－１０１－０４５

※　スタッドメーカーとフェルールの組合せは限定しない

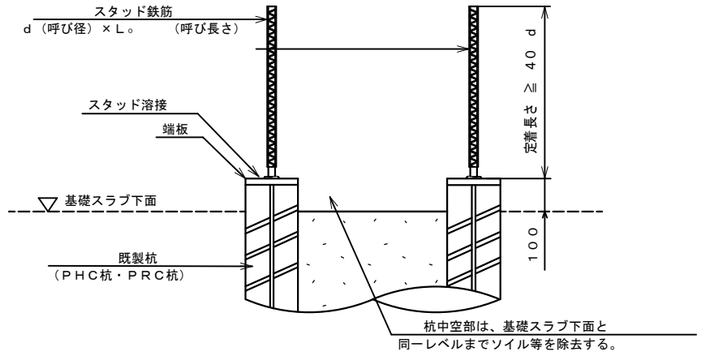
パイルスタッド（ＫＳＷ４９０）の化学成分および機械的性質

化学成分　（%）						機械的性質		
C	Si	Mn	P	S	C＋Mn／6	降伏点（N／mm^2）	引張強さ（N／mm^2）	伸び（%）
０．２０以下	０．１５～０．３５	０．３０～０．９０	０．０３５以下	０．０３５以下	０．３５以下	３４５～４４０	４９０以上	２０以上

３．杭頭接合仕様

杭仕様			パイルスタッド仕様			備考
杭径	杭種	杭本数	鉄筋径	呼び長さ	本／１杭	
φ350	P1　PHC杭　C種	6	D13	520	6	

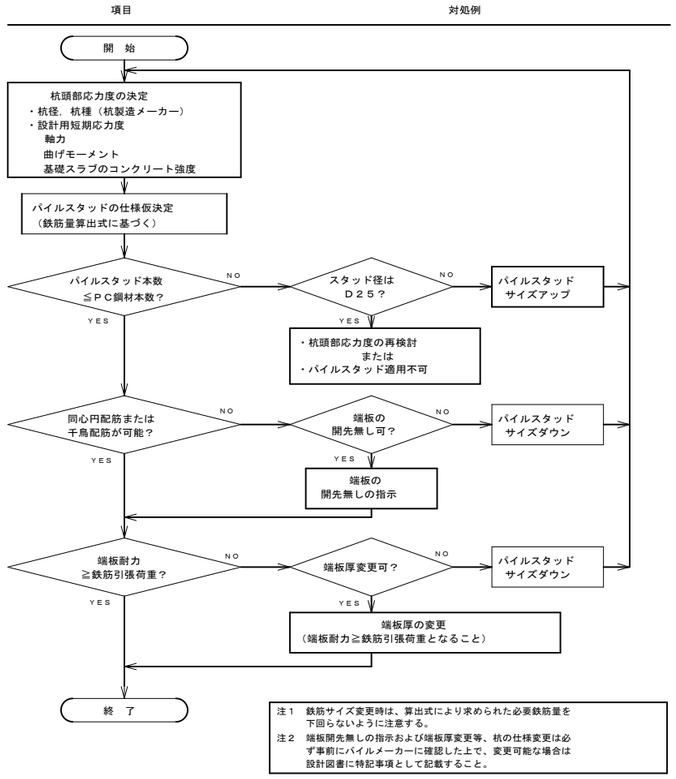
４．杭頭接合構造図



５．設計に関する考え方の一例

下図設計手順例は、適用にあたっての一つの参考例であり、構造設計者の考え方に基づく適切な設計法により杭頭接合鉄筋量を算出することが望ましい。
詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書付録による。

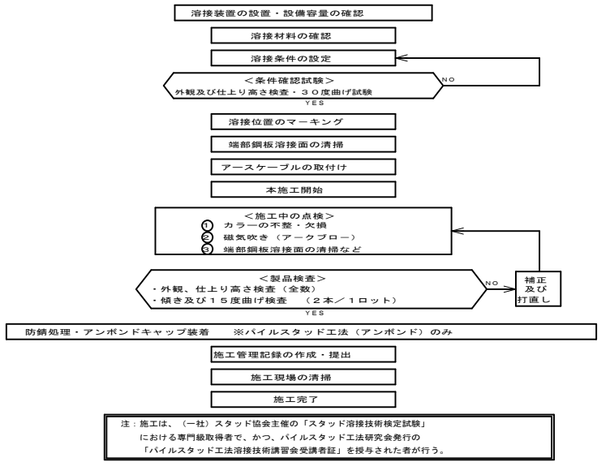
設計手順例



注１　鉄筋サイズ変更時は、算出式により求められた必要鉄筋量を下回らないように注意する。
注２　端板開先無しの指示および端板厚変更等、杭の仕様変更は必ず事前にパイルメーカーに確認した上で、変更可能な場合は設計図書に特記事項として記載すること。

６．パイルスタッド工法　標準施工フロー

（詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書の「施工要領」による）



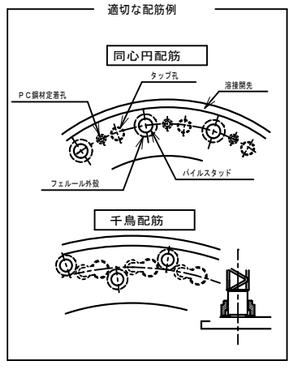
７．製品検査規定

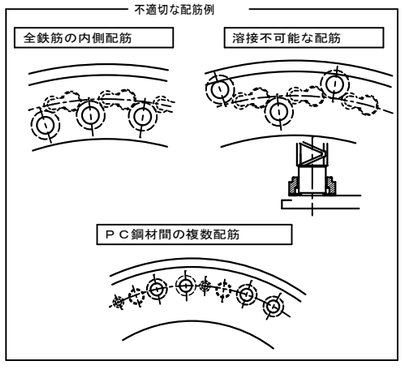
頻度	検査項目	検査方法	判定基準
全数検査	外観検査	目視	カラーが軸部全周に包囲して、アンダーカットの無いこと
	仕上り高さ	ゲージ等による	設計寸法－０ｍｍ～＋４ｍｍ
抜取検査	傾き検査	ゲージ等による	θ≦５°
	曲げ検査	パイプ曲げ等による	溶接部に割れなどの欠陥が生じないこと

８．パイルスタッドの配筋規定

（詳細は、本工法建設技術審査証明（建築技術）報告書付録の「配置計画」による）

１）　フェルール外殻が端板の開先やＰＣ鋼材孔と重ならない位置に溶接する。
２）　ＰＣ鋼材径と同心円上の位置への配筋を基本とする。（同心円配筋）
３）　同心円配筋ができない程ＰＣ鋼材間が狭隘な場合、フェルールをＰＣ鋼材孔の同心円上の外側、内側と交互に配筋する。（千鳥配筋）
４）　杭当たりの配筋本数は、６本以上かつＰＣ鋼材本数以下を原則とする。
５）　ＰＣ鋼材孔間に２本以上配筋しないことを原則とする。
６）　パイルスタッドのあきは、基礎スラブコンクリート粗骨材最大寸法の１．２５倍以上かつパイルスタッド公称直径の１．５倍以上とする。
また、パイルスタッド中心とＰＣ鋼材中心は２０ｍｍ程度離す。





参考図

構造設計担当者
構造一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

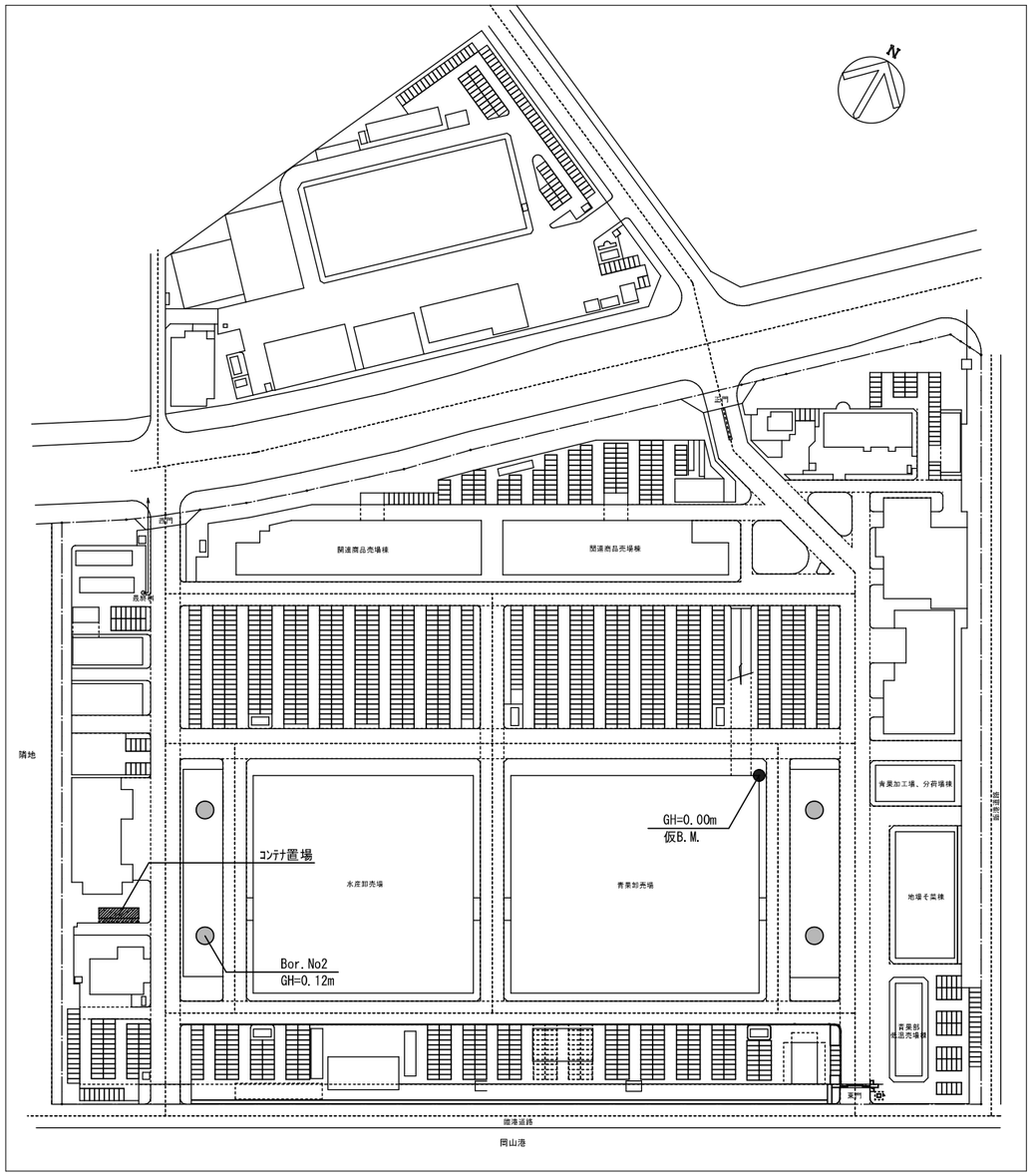
工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事		Ｎｏ．Ｓ－０７
図面名	ｺﾝﾃﾅ置場_ﾊﾟｲﾙｽﾀｯﾄﾞ工法　設計・施工標準図	縮尺 non scale	
岡山市市場事業部		令和７年４月	

建築	課　長	主　幹	課長補佐	副主査	課　員	担当者

設備	課　長	主　幹	課長補佐	副主査	課　員	担当者	承認	検図	製図

株式会社Ｕ．Ｄ．Ｄ設計
株式会社ユー・ディ・ディ設計
岡山市南区北田一丁目３番１０号
Tel 086-223-2266　FAX 086-223-2262
一級建築士事務登録　岡第１２１４７号
一級建築士　第３７８８４９号
中田　智之

ボーリング柱状図



調査地平面図

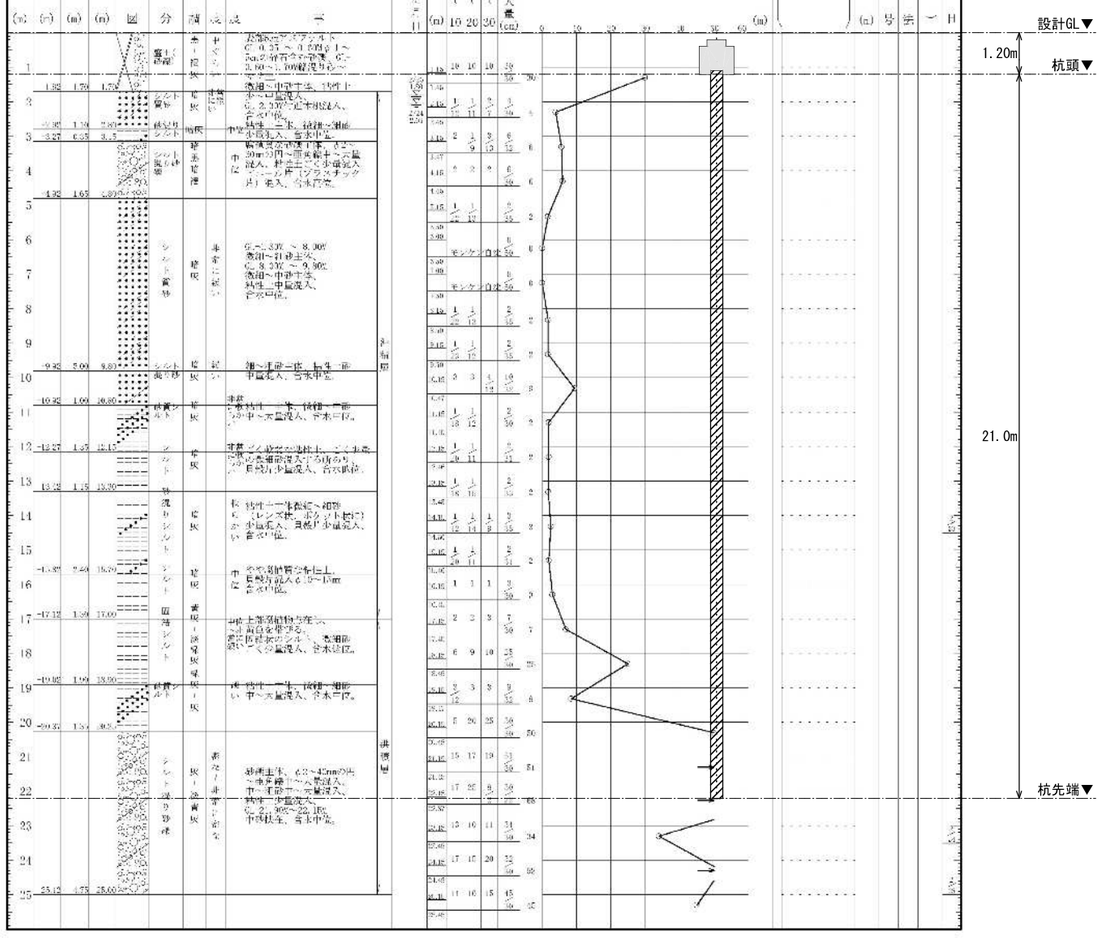
調査名	岡山市中央卸売市場地質調査業務委託
事業・工事名	青果・水産立体駐車場兼荷捌き場新設工事

ボーリングNo.

シートNo.

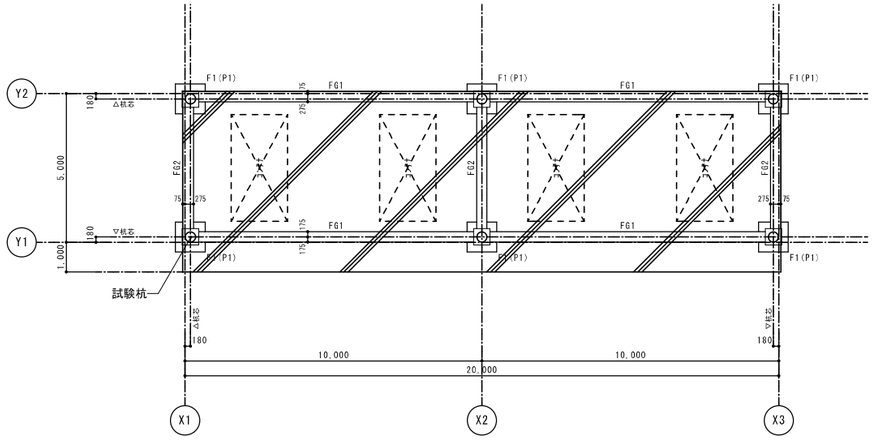
ボーリング名	NO.2	調査位置	岡山市市場一丁目1番地					北緯	34° 35′ 59.3″
発注機関	岡山市都市整備局都市建築部営繕課			調査期間	平成17年2月23日 ～ 17年3月25日			東経	133° 56′ 14.1″
調査業者名	株式会社中国技研 電話(086 263 5261)	主任技師	大熊三郎	現場代理人	大熊三郎	コア援定者	大熊三郎	ボーリング責任者	久保田昌宏
孔口標高	BW 0.12m	角度	上 180° 下 0°	方向	北 0° 西 270° 90° 180° 南	地盤勾配	水平 0° 北 90° 南	使用機種	試錐機 東邦01 B
総掘進長	25.00m								ハンマー落下用具 トンビ
									エンジン ヤンマーNF012
									ポンプ 東邦BG-3C

層厚	柱状図	土質区分	色調	状態	相対密度	記事	孔内水位(m)/測定年月日	標準貫入試験 打撃回数/貫入量(cm)	N値	原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	掘進月日
1.82 1.70 1.70		盛土	黒	中密		表層部アスファルト C 0.37～0.50m 1.0～3m 2.60m分アスファルト C 3.60～3.70m 礫混り砂		19 16 19 35/30					
3.52 1.70 7.80		シルト質砂	褐灰	緩	中密	微細～中砂主体、1.9m中～粗砂混入、C 2.30～2.40m 貝殻混入、貝殻片多く含む。	孔内水位(m)/測定年月日	1 1 2 3/12 11					
5.37 1.85 9.65		シルト質砂	褐灰	緩	中密	中粗砂～粗砂主体、貝殻片多く混入、含水中位。		2 1 2 3/9 13					
4.32 1.65 6.80		シルト質砂	褐灰	緩	中密	粗～中砂主体、1.0m～2.0m間～細礫多く混入、C 2.30～2.40m 貝殻片多く混入、ビニール片（プラスチック片）多く混入、含水中位。		4 2 2 6/30					
9.42 2.00 9.80		シルト質砂	褐灰	緩	中密	C 6～C 3.70 ～ 8.00m 微細～粗砂主体、C 8.20～8.30m 微細～中砂主体、礫性～中量混入、含水中位。		1 1 2 3/42 12					
10.92 1.00 10.80		シルト質砂	褐灰	緩	中密	細～粗砂主体、礫性～細中量混入、含水中位。		1 1 2 3/13 12					
12.37 1.45 12.15		シルト	褐灰	緩	中密	粗砂～中砂主体、礫性～細～中量混入、含水中位。		1 1 2 3/9 11					
13.32 1.15 13.30		粘土質シルト	褐灰	緩	中密	粗砂～中砂主体、礫性～細～中量混入、含水中位。		1 1 2 3/18 16					
15.32 2.00 15.30		シルト	褐灰	緩	中位	粗砂～中砂主体、礫性～細～中量混入、含水中位。		1 1 2 3/12 11					
17.12 1.80 17.00		粘土質シルト	黄褐灰～褐灰	緩	中位	粗砂～中砂主体、礫性～細～中量混入、含水中位。		1 1 2 3/29 11					
19.02 1.90 19.00		粘土質シルト	褐灰～暗灰黄	緩	中位	やや粘性が増す。		1 1 1 3/30 9					
20.37 1.35 20.35		シルト質砂	褐灰～暗灰黄	緩	中位	地上部植物が生え、根が長く伸びる。		2 2 3 3/30 7					
23.12 2.75 23.00		シルト質砂	褐灰～黄灰	緩～中密	中位～密	微細主体、C 22～42mmの礫～中礫多く混入、中～粗砂～中量混入、粘性～中量混入、C 22.00～22.10m 中粗砂主体、含水中位。		6 9 10 25/30					
25.12 2.00 25.00		シルト質砂	褐灰～暗灰黄	緩～中密	中位～密	粗～中砂主体、礫性～細中量混入、含水中位。		3 3 3 3/12					
								5 26 25 50/30					
								15 17 19 31/30					
								17 22 8 30/30					
								13 16 11 31/30					
								17 17 20 32/30					
								11 10 15 45/30					



構造設計担当者
構造一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事							No.	S-08
図面名	コンテナ置場_地盤調査位置図					縮尺	non scale		
	岡山市市場事業部					令和7年4月			
建築	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者		株式会社U.D.D設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 岡山市南区泉田一丁目3番13号 一級建築士事務登録 第121147号 一級建築士 第378849号 中田 智之	
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検図	製図



杭・基礎伏図 1:100

特記なき限り下記による

- 1FLは S.GL±0 とする
- 地中梁天ﾚﾍﾞﾙは S.GL-300(1FL-300) とする
- 基礎ﾍﾞｰｽ下端は S.GL-1.300 とする
- 床版ﾚﾍﾞﾙは S.GL±0(仮BM±0) とする
- 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ範囲を示す

<杭工事概要>

工法 : RODEX工法 / 砂質地盤 旧法第38条既認定番号 FK093

杭天端 : S.GL-1.20m / 杭先端 : S.GL-22.20m / 杭長 : L=21.00m

P1 ○

上杭 : PHC杭 C種 - φ350mm - L=7.00m

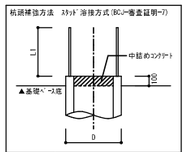
中杭 : PHC杭 A種 - φ350mm - L=7.00m

下杭 : PHC杭 A種 - φ350mm - L=7.00m

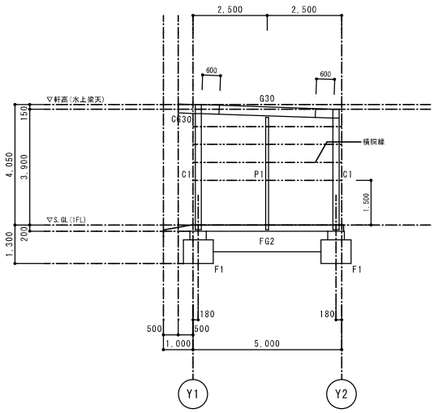
本数 : 6本 / 許容支持力 : 300kN(長期)・600kN(短期)

許容引き抜き力 : 40kN(長期)・80kN(短期)

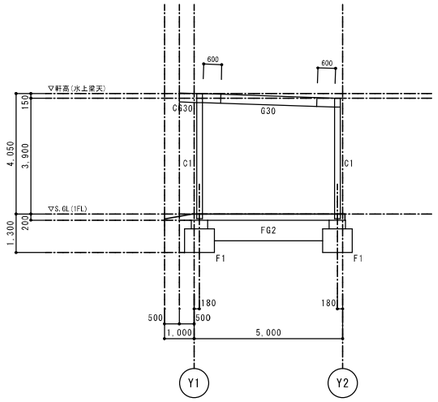
杭頭補強方法 ｽﾀｯﾄﾞ溶接方式(BCJ-審査証明-7)



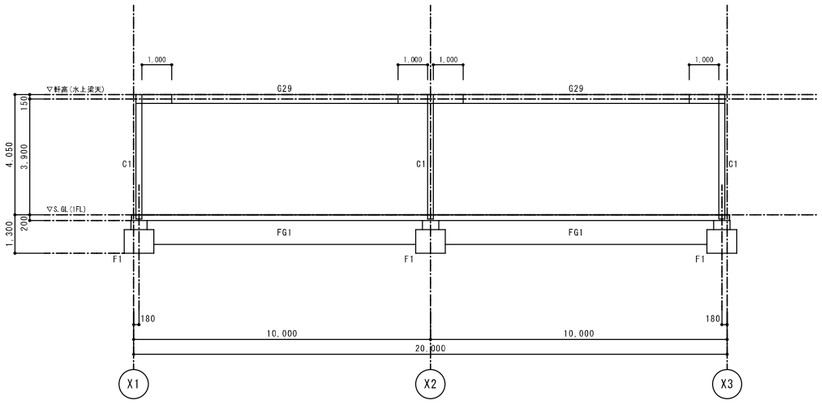
杭符号	P1
杭 径	φ350
補強筋	6-D13(KSM490/SD345)
L1	520mm以上(40d)



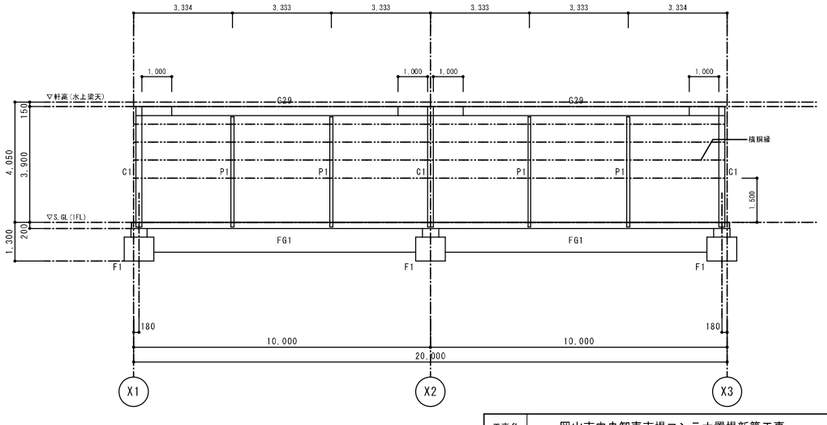
X1・X3通り軸組図 1:100



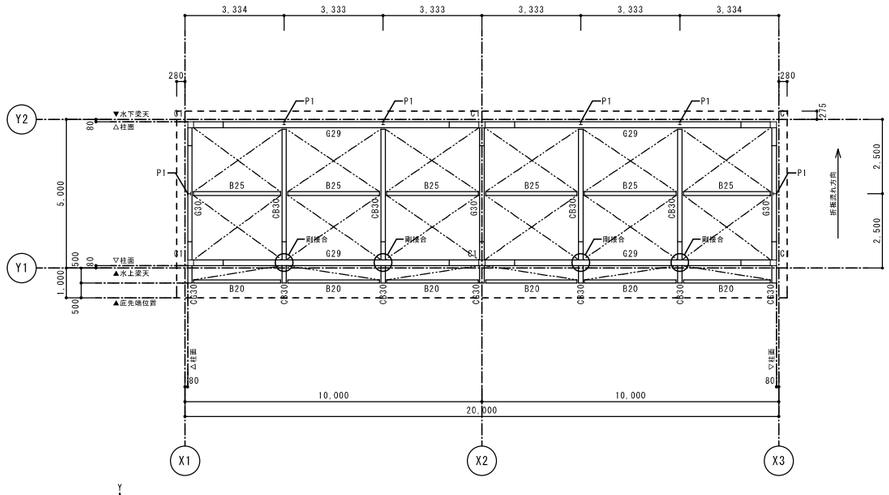
X2通り軸組図 1:100



Y1通り軸組図 1:100



Y2通り軸組図 1:100



小屋梁伏図 1:100

特記なき限り下記による

- 大梁天端は,軸組図による
- 梁継手位置は,軸組図による

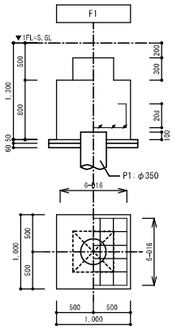
構造設計担当者

構造一級建築士第4087号

一級建築士第243674号 木村誠司

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事									Ｎｏ. S-09
図面名	コンテナ置場_各階伏図・軸組図						縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
岡山市市場事業部							令和７年４月			株式会社U．D．D設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 岡山市南区泉田一丁目３番１０号 TEL 086(262)7811 FAX 086(262)7812 一級建築士事務登録 岡第１２１４７号 一級建築士 中田 智之 第３７８８４９号
建築	課 長	主 幹	課長補佐	副主査	課 員	担当者				
設備	課 長	主 幹	課長補佐	副主査	課 員	担当者	承認	検図	製図	

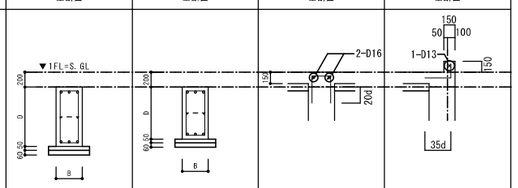
基礎ﾘｽﾄ　S:1/40

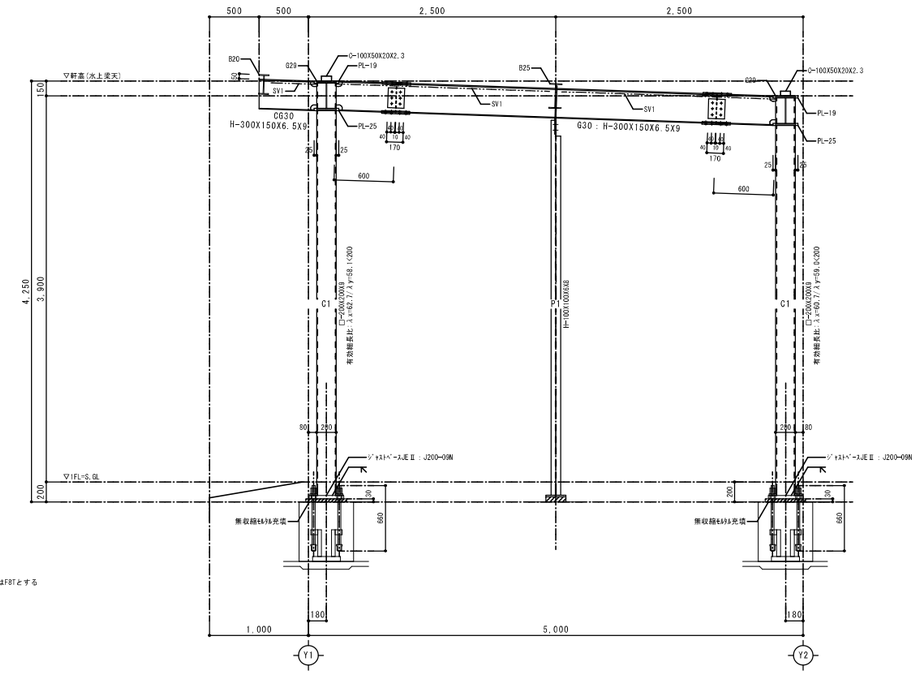


礎柱ﾘｽﾄ　S:1/40

符　号	C1
断　面	
B X D	550X550
主　筋	12-D16(SD295)
HOOP	D13@150(SD295)
備　考	ｼﾞｬｽﾄﾍﾞｰｽJE Ⅱ：J200-09N

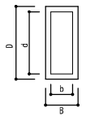
地中梁ﾘｽﾄ　S:1/40　・特記無き限り 巾止筋　D10@1000

	符　号	FG1	FG2	梁上増打補強 配筋要領図	立上り 配筋要領図
	位　置	全断面	全断面	全断面	全断面
地中梁	断　面				
	B X D	350X800	350X700		
	上 端 筋	3-D22	3-D22	補強筋　2-D16(B≦350)	補強筋　1-D13
	下 端 筋	3-D22	3-D22		
	スターラップ	□-D10@200	□-D10@200	ｽﾀｰﾗｯﾌﾟと同径、同ﾋﾟｯﾁ	土間ｽﾗﾌﾞと同径、同ﾋﾟｯﾁ
	腹　筋	2-D10	2-D10		



ｽﾗﾌﾞﾘｽﾄ

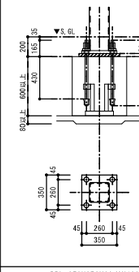
記　号	ｽﾗﾌﾞ厚	位　置	短辺方向		長辺方向		備　考
			端　部	中　央	端　部	中　央	
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	150	上端筋	D10　@200		D10　@200		
		下端筋	D10　@200		D10　@200		



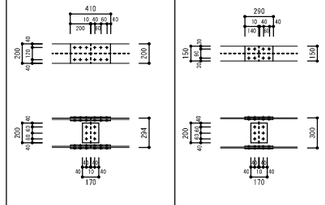
※　特記事項
1　腹筋の定着長さはL2、継手長さはL1とする
2　ｽﾀｰﾗｯﾌﾟの加工寸法は、下記による

b=B-100
d=D-100
※ かぶり厚さ50mm以上を確保すること

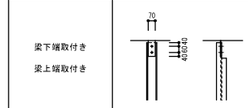
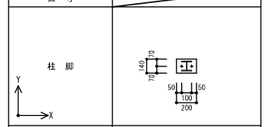
柱ﾘｽﾄ　S:1/30　・特記なき限り鋼材はSCR295とする

階	符　号	C1
1	部　材	□-200X200X9
柱　脚	断　面	
	BASE.PL	BPL-350X350X32(SN490B)
	A.BOLT	4-D29(SD490)　L=660
	備　考	ｼﾞｬｽﾄﾍﾞｰｽJE Ⅱ：J200-09N

大梁ﾘｽﾄ　S:1/30　・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

符　号		G29	G30・CG30・CGB30
部　材		H-294X200X8X12	H-300X150X6.5X9
継　手			
フランジ	SPL	2PL-9X200X410	2PL-9X150X290
		4PL-9X80X410	4PL-9X60X290
	HTB	24-M20	16-M16
ウェブ	SPL	2PL-9X200X170	2PL-6X200X170
	HTB	6-M20	6-M16
ﾋﾟﾝ接合			GPL-9　HTB.3-M20

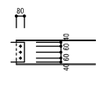
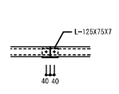
間柱ﾘｽﾄ　S:1/30　・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

符　号	P1
部　材	H-100X100X6X8
梁下端取付き 梁上端取付き	
GPL	PL-9X70X140
HTB	2-M16
備　考	
柱　脚	
BASE.PL	PL-16X200X140
A.BOLT	2-M16(L=450/ﾌｯｸ付/ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ締)
備　考	

XI通り鉄骨架構詳細図　S=1:30

・材質：大梁　SS400、角形鋼管　BCR295、通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ　SN490C、その他SS400とする。
・ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ厚は取りつく梁ﾌﾗﾝｼﾞPLのｻｲｽﾞｱｯﾌﾟとする。

小梁ﾘｽﾄ　S:1/30　・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

符　号	B25	B20	SV1	横胴縁
断　面				
部　材	H-250X125X6X9	H-200X100X5.5X8	1-M16　ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付	C-100X50X20X3.2
継　手	GPL-6　HTB.3-M16	GPL-6　HTB.2-M16	GPL-9　HTB.1-M16	L-125X75X7　1-M16(中ﾎﾞﾙﾄ)
備　考				

横補剛ﾘｽﾄ　S:1/30　・特記なき限り鋼材はSS400、高力ﾎﾞﾙﾄはF8Tとする

符　号	G44-B20
R　階	
大　梁	H-294X200X8X12
小　梁	H-300X150X6.5X9
仕　口	GPL-9　HTB.3-M20

構造設計担当者
構造一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事								No. S-10
図面名	コンテナ置場_部材ﾘｽﾄ・鉄骨架構詳細図					縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
岡山市市場事業部						令和７年４月			
建築	課　長	主　幹	課長補佐	副主査	課　員	担当者			
設備	課　長	主　幹	課長補佐	副主査	課　員	担当者	承認	検図	製図

㈱ 株式会社Ｕ．Ｄ．Ｄ設計
株式会社ユー・ディ・ディ設計
第五市場第館一丁目３番１０号
TEL(086)231-6230　FAX(086)231-6231
一級建築士事務所登録　第第１２１４７号
一級建築士　中田　智之　第３７８８４９号

岡山市建築設備工事（電気）仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 場 所　　岡山市南区市場一丁目1番地

2 建 物 概 要

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	消防法令別表1	備考
コンテナ置場	S造	1	100.0	15項	
合計			100.00		

3 工 事 種 目 （⊙ 印のついたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工事様別				
	コンテナ置場				屋外
⊙電灯設備	新設一式				新設一式
・動力設備					
・受変電設備					
・発電設備					
・太陽光発電設備					
・雷保護設備					
・ＬＡＮ設備					
・構内交換設備					
・映像音響設備					
・拡声設備					
・情報表示設備					
・ＴＶ共同受信設備					
・インターホン設備					
・火災報知設備					
・警備配管設備					
・構内配電線路					
・誘導支援設備					
⊙監視カメラ設備	新設一式				新設一式
・駐車場管制設備					

Ⅱ 工 事 仕 様

1 共 通 仕 様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)最新版及び、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)最新版による。

2 特 記 仕 様

1）項目は、番号に ◯ 印のついたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は ⊙ 印のついたものを適用する。

	項目	特記事項
一般共通事項	① 機材	岡山市公共建築課機器材料等指定名簿、設備機材等評価名簿(一社)公共建築協会発行　最新版による。 図示する品番・寸法・要図及び形状は参考であり、製品名及び製造所を指定するものではない。
	1) 環境への配慮	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に定める所により、環境負荷を低減できる材料を選択するよう努める。
	2) 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部使用する建築材料等は、設計図書に選定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の条件を満たすものとする。 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
	② 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、工事期間中の電気工作物の保安業務を行うものとする。
	③ 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用は受注者の負担とする。 官公署への諸手続などの費用は受注者の負担とする。
	4．工事用仮設物	構内につくることが　・できる　・できない
	5．発生材の処理	引渡しを要するもの。 ・なし　・あり（・機器類　・配管材料　・ＰＣＢ使用機器類　・蛍光管） ＰＣＢ使用機器、水銀使用の管球は関係法令により適正に処理か、建物管理者に引き渡すこと。
	6．残土処理	・構内指示の場所に敷きならし　・構外搬出適切処理
	7．他工事との取合い	・はり貫通部の補強及びスリーブ 補強　・別途工事　・本工事　　スリーブ　・別途工事　・本工事 ・照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート ・別途工事　・本工事 ・軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地 ・別途工事　・本工事 ・埋込形分電盤、端子盤、プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強 仮枠　・別途工事　・本工事 補強　・別途工事　・本工事 ・天井埋込形器具の取付面所の天井ボード類、下地の切込み、下地の補強 ・別途工事　・本工事 ・自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ ・別途工事　・本工事 ・電気室、自家発電機室などの基礎及びピット（ふたを含む） ・別途工事　・本工事 ・アンテナ基礎 ・別途工事　・本工事
	⑧ 合成樹脂可とう管	⊙ ＰＦ管を使用する場合は（タイプ－２５）一重管とする。
	⑨ 呼び線	・長さ１ｍ以上の入線しない管路には１．２ｍｍ以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。
	⑩ フラッシュプレートの材質	⊙ 金属製（ＳＵＳ　新金属も含む）　・樹脂製
	11．フロアボックス	・コンクリートボックス又はアウトレットボックス
	12．フロアプレート	・水平高低調節付プレート（空転防止、リング付）とする。
	⑬ プルボックス仕上等	・ＦＳ形（埋込都を除く、ふた部分）はメラミン焼付塗装とする。 ⊙ ＳＵＳ　・ＺＳＰ処理　・溶融亜鉛メッキ　・塩化ビニル
	⑭ カバープレートの用途別表示	⊙ 電灯㊀、動力㊁、電話㊂、電気時計㊃、拡声㊄、インターホン㊅、表示㊆、テレビ共同受信㊇、火災報知㊈、警備㊉ の表示をする。
	⑮ 電線類	⊙ ＥＭ電線で規格等の定めの無いものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
	⑯ 電線本数、管路等	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線で、配線経路、電線サイズ、電線本数、配管サイズなどは監督員との協議により図面表示と多少相違、増加させてもよい。

一般共通事項

⑰ 接地種　　下記による。

	接地の種類	記号	接地抵抗値		接地の種類	記号	接地抵抗値
・	共同接地	E_{AD}	１０Ω以下	・	交換機用	E_t	１００Ω以下
・	第Ａ種	E_A	１０Ω以下	・	通信用	E_{At}	１０Ω以下
・	第Ｂ種	E_B	Ω以下	・	通信用	E_D及びE_{Dt}	１００Ω以下
⊙	第Ｄ種	E_D	１０００Ω以下	・	測定用	E_O	―――
・	第Ｃ種	E_C	１０Ω以下	⊙	ＥＬＣＢ回路用	E_{DELB}	１００Ω以下
・	雷保護用	E_{AL}	１０Ω以下				

⑱ 埋設表示　　⊙ 黄銅板製（避雷設備用及び接地極埋設表示）　・ＳＵＳ製
⊙ 埋設シート（ ダブル ）
⊙ 地中配線の埋設表示は８０×８０×３００のコンクリート杭に裏側より方向種別をエッチングした硬質のプラスチック板を貼ったものとする。ただし、舗装された場所は鉄製のものとする。

19．再使用機器　　取外し再利用機器は清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付のこと。

⑳ 絶縁抵抗の測定　　工事着手前に改修場所の既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。

㉑ 補修など　　工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修をする。

㉒ 露出配管の塗装仕様　　・ 変性エポキシ樹脂プライマー＋合成樹脂調合ペイント２回塗り　⊙ 塗装なし

㉓ 耐震指置　　設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風道などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。
⊙ 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器重量［kN］に地域係数0.9とし、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設置場所	機器種別	・特定の施設 重要機器	・特定の施設 一般機器	⊙一般の施設 重要機器	⊙一般の施設 一般機器
上層階 注1）屋上及び塔屋	機器	２．０	１．５	１．５	１．０
	防振支持の機器	２．０	２．０	２．０	１．５
	屋上及び塔屋	２．０	１．５	１．５	１．０
中間階	機器	１．５	１．０	１．０	０．６
	防振支持の機器	１．５	１．５	１．５	１．０
	水槽類	１．５	１．０	１．０	０．６
地下及び1階	機器	１．０	０．６	０．６	０．４
	防振支持の機器	１．０	１．０	１．０	０．６
	水槽類	１．５	１．０	１．０	０．６

・ 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10階～12階建の場合は上層3階13階建以上の場合は上層4階とする。
・ 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
⊙ 重要機器は次のものを示す。（水槽類には燃料小出し槽を含む。）
⊙配電盤　・発電装置（防災用）　・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・交換機　・火災報知受信機　・中央監視装置　・通信総合盤
・設計用和震地震力は設計用水平地震力の1／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉔ 盤表示
㉕ 盤仕上等　　**受注者名で一括発注工事の場合は下請負電気工事業者名も記入する。**
㉖ 分電盤　　屋外用盤（キュービクルを除く）は ⊙ ＳＵＳ　・ＺＳＰ処理　・ 樹脂
㉗ 分電盤塗装色　　**・ 中扉は丁番式ワンタッチ開閉とする。　⊙ 接地端子は承諾図により指示**
⊙ ２．５Ｙ９／１（ベージュ）　・ その他

電灯設備

① 工事範囲　　⊙ 配管　⊙ 配線　⊙ 機器等取付　・撤去
② 配線器具　　・ タンブラスイッチは連用大角形ホーム付とする。
・ 壁付コンセントは原則として連用大角形とする。ただし2口の場合は複式は使用してよい。
・ 防水形コンセント（ ・ 防滴プレート形　・ ツイストロック形　・ 露出形　・ プラグ付）
③ 照明器具　　⊙ ＬＥＤの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
ＬＥＤの光源色（・昼光色 ⊙昼白色 ・温白色　・電球色）
・ ブローイング工法に対応するＬＥＤ照明とする。
4．非常用照明の照度測定　　・ 設置した各部屋２箇所以上とし、測定箇所は監督員の指示による。
5．照明制御の照度測定　　・ 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督員に提出する。
なお測定箇所は監督員の指示による。
照度測定時期　１００％点灯時（・ 夜間　・　）
調光制御点灯時（・ 夜間　・ 昼間 ）
⑥ EEFｹｰﾌﾞﾙのｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ　　⊙ アウトレットボックス　⊙ プルボックス　・ ＥＥＦ用ジョイントボックス
⑦ 照明器具の接地　　⊙ コード吊以外の照明器具（屋外灯及び３２Ｗ相当以上）はすべて接地する。
⊙ 接地線は原則としてＩＥ１．６mm以上とする。ただし、ケーブルの心線数を増加して（配線と同一サイズ、接地線緑色）使用してもよい。
8．照度センサ設定器　　・ 納入数　個
9．多重伝送ﾘﾓｺﾝﾌﾄﾞﾚｽ送信機　　・ 納入数　個
10．非常照明・誘導灯　　・ 納入数　個
自己点検送信器
⑪ 分電盤の予備配管　　⊙ 予備の配線用遮断器４個以下の場合（２５）相当を１本、５個以上の場合（２５）相当を２本を下記のように施工する。
天井スラブの場合・天井又は梁下２０ｃｍまで立上げ、中深アウトレットボックスにカバープレート取付。
二重天井の場合・天井内まで立上げ、中深アウトレットボックスにカバープレート取付。
12．引留金物等　　・ フックボルト（ＤＶ１４゛相当以下）　・ アンカーボルト（ＤＶ２２゛相当以上）
13．外灯　　・ ランプ（ ・ LEDランプ　・ メタルハライドランプ
・セラミックメタルハライドランプ　・ 高圧ナトリウムランプ）
安定器　・ 一般型　・ 低始動電流型　・ 電子式定電力型　・ 低力率　・ 高力率
開閉器　・ カットアウトスイッチ　・ 防水ジョイントユニット
⑭ 照度測定　　・ 内野（５ｍピッチ）　・ 外野（１０ｍピッチ）　⊙指定する所

動力設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・撤去
2．電動機などへの接続　　・ 本工事　・ 別途工事
3．監視制御　　監視　・ 警報盤による代表監視　・ 中央監視盤による監視
操作　・ 現場盤による手元操作　・ 中央監視盤による遠方操作
・ 押ボタンスイッチによる遠方操作
・ 操作電源　・ 受変電設備の操作電源による。
・ その他
4．引留金物等　　・ フックボルト（ＤＶ１４゛相当以下）　・ アンカーボルト（ＤＶ２２゛相当以上）

受変電設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・撤去
2．電気方式　　高圧　三相３線式　６ｋｖ　６０Ｈｚ
低圧　・ 三相３線式２００Ｖ　・ 単相３線式１００／２００Ｖ
・ 単相２線式　・ １００Ｖ　・ ２００Ｖ
3．盤内取付装置　　・ 盤内ヒーター　・ 換気扇　・ ダイヤル式温度計（油入トランス用）
4．屋外変電基礎　　・ 本工事　・ 別途工事
5．高圧交流負荷開閉器　　・ 開放形　・ 密閉（ ・ 中耐塩形　・ 重耐塩形）　・ 地絡継電器付
6．高圧ケーブルの端末処理　　・ 屋外　・ 一般型　・ 耐塩型（ ・ プレハブ　・ ガイシ）
7．予備品等　　・ 電力ヒューズ現用定格値のものを現用数
・ フック棒
・ トランスの防振ゴムは耐震ストッパー付きとする。

発電設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・撤去
2．電気方式　　三相３線式　・ ６ｋｖ　・ ２００Ｖ　・ ６０Ｈｚ
3．仕様明細　　別仕様書による。
4．チェンブロック天井走行装置など　　・ Ｕ字ボルト（ ・ 本工事　・ 別途工事）　・ １ビーム（ ・ 本工事　・ 別途工事）
・ チェーンブロック（ ・本工事 ・別途工事）・ 天井走行装置（ ・本工事 ・別途工事）
5．防油堤　　・ コンクリート製　・ 鋼板製（ ・ 本工事　・ 別途工事）
6．予備品等　　消火器（粉末ＡＢＣ、蓄圧式）（ ・ １０形　・ ２０形　　個）
7．工具　　工具　・ 製造者の標準一式

太陽光発電設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・架台　・ＰＶ支持架台　・ 撤去
2．太陽電池アレイ　　・ 出力　ｋＷ　・ 設備面積　㎡
3．ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ　　・ 出力　ｋＷ　・ 電気方式　相　３線式
4．系統連携　　・ １φ　・ ３φ
5．系統連携保護　　・ ＯＶＧＲ　・ ＲＰＲ
6．逆潮流　　・ 有　・ 無
7．表示装置　　・ 有　・ 無
8．計測装置　　・ 温度計（直射日光の当たる場所に設置は禁忌）　・ 日射計

雷保護設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 受雷部取付　・ 接地極埋設　・ 撤去
2．受雷部　　・ 突針　・ 水平導体又はメッシュ導体　・ 構造体利用
3．引下げ導線　　・ 引き下げ導線　・ 建築構造体利用　・ 試験用接続端子箱
4．接地システム　　・ 建築構造体利用（建築基礎等完了時構造体の接地抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。）
・ Ａ型接地極　・ Ｂ型接地極
5．内部雷保護　　・ ＳＰＤ　・ＳＰＤ分離機　・ 等電位ボンディング

ＬＡＮ設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付（キャビネット類）　・ 撤去
2．ネットワーク　　・ 100BASE-TX/FX　・ 1000BASE-T/SX/LX　・ 10GBASE-SR/LR/ER/LX4/T
・ その他（　　）
3．使用機器　　・ EM-UTPｹｰﾌﾞﾙ　・ 光ﾌｧｲﾊﾞｰ　・ 情報ｺﾝｾﾝﾄ　・ ｽｲｯﾁﾝｸﾞHUB
・ ﾙｰﾀｰ　・ TA　・ 無線LAN　・ ﾒﾃﾞｨｱｺﾝﾊﾞｰﾀｰ
・ その他（　　）

構内交換設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 呼び線挿入　・撤去
2．ローテンションアウトレット　　・ 一般電話用　個　・ ボタン電話用　個　・ 取付　・ 納入
・ ユニット形　・ 防水形
3．保安器用接地　　・ 本工事　・ 別途工事
4．引留金物等　　・ フックボルト　・ アンカーボルト
5．形式　　・ デジタルＰＢＸ　・ＩＰ－ＰＢＸ
6．回線数　　・ 内線　／　回線　・ 局線　／　回線
7．局線表示盤　　・ 面
8．電話設備　　・ 多機能電話機　・一般電話機　・玄関子機　・ＩＰ電話器　・ＰＨＳ
・ ＰＨＳ用アンテナ
9．電話機への配線　　・ 内線電話１台につき次のものを見込む。
・ ＴＩＥＦ0.65-2Ｃ（ ・ ２０ｍ　・　ｍ）　・ ２号ワイヤプロテクタ１．５ｍ
・ BTIEE　0.4-4P（ ・ ２０ｍ　・　ｍ）　・ ２号ワイヤプロテクタ１．５ｍ

映像音響設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・ 撤去
2．映像機器　　・プレーヤ（・ＤＶＤ　・ブルーレイ）　・ モニタ　・ プロジェクタ　・ ビデオカメラ
3．音響機器　　・ マイクロホン　・ ＣＤプレーヤ　・ アンテナ　・ダブルカセットデッキ

拡声設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・ 撤去
2．増幅器
3．マイクロホン
4．ワイヤレス受信機
5．スピーカー
6．音量調節器
7．アンテナ
8．ＣＤプレーヤー
※　図面参照

情報表示設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・ 撤去
2．マルチサイン装置　　・ 壁掛形　・ 自立形
3．出退表示装置　　・ 縦書　・ 横書
・ 発信器　・ 埋込形　・ 卓上形
4．時計表示装置　　・ 親時計　・ ラック形　・ 壁掛形
・ 子時計　・ 壁掛形　・ 埋込形　・ 天吊形
・ アナログ　・ デジタル
5．予備品　　・ 電球、ヒューズ　・ 現用数の２倍　・ １０個

ＴＶ共同受信設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・ 撤去
2．同軸ケーブル　　・ 高周波同軸ケーブル（ＥＭ－ｎＣ－２Ｅ）　・ ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ同軸ｹｰﾌﾞﾙ（ＥＭ－Ｓ－ｎＣ－ＦＢ）
3．アンテナ　　・ ＡＵ１形　・ ＡＵ２形　・ ＢＳ　・110°ＣＳ　・ＦＭ　・ＡＭ
4．アンテナ支持ポールの取付　　・ 壁面（　　点支持）　・ 自立　・ Ａ部の長さ　　ｍ
5．増幅器　　・ 形式（　　）
6．電界強度の測定　　・ 要　・ 不要

インターホン設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・ 撤去
2．電源　　・ ＡＣ１００Ｖ
3．機種　　・ 電話形親機　・ スピーカー形親機　・ 電話形子機　・ スピーカー形子機
4．通話網方式　　・ 親子式　・ 相互式
5．電話方式　　・ 同時式　・ 交互式

火災報知設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 配線　・ 機器等取付　・ 撤去
2．自動火災報知設備
・ 副受信機　　級　　回線
・ 自立型　・ 壁掛型
3．非常警報装置　　・ 発信器、ベル、表示灯等の形式　・ 一体型　・ 複合装置　・ 単独型
4．自動閉鎖設備　　・ 防火戸　・ 防火シャッター　・ 防煙ダンパー
5．ガス漏れ警報設備　　・ 検知器　・ 移動接点付
（ＬＰＧ）　・ 受信機　　回線
・ 認定品　・ 非認定品
6．漏電火災警報設備　　・ １級認定品
7．予備品　　電球、ヒューズ、プロテクターは　・ 製造者の標準一式
工具は　・ 製造者の標準一式

警備配管設備

1．工事範囲　　・ 配管　・ 呼び線挿入　・ 撤去
2．施工方法
3．電源
4．警報方式
※　図面参照

構内配電線路

① 施工方法　　・ 地中線保護方式　・ 厚鋼電線管　・ ポリエチレン被覆鋼管（外面一層型）
・ コンクリートトラフ　・ ＨＩＶＥ　⊙ 波付硬質合成樹脂管
・ 架空線電柱　・ 遠心力鉄筋コンクリート柱　・ 木柱（注入柱）
・ バンザーマスト　・ 亜鉛めっき鋼管ポール
電柱名札　・ 要　・ 不要
支　線　・ 亜鉛めっき鋼より線
⊙ 埋設深さ　⊙ ＧＬ－６００　・ ＧＬ－３００　・ 路盤下－３００以上（道路を除く）
2．地中箱　　・ 蓋の記号表示　・ 蓄型流込み（　　）

① 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

	名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800
	引込開閉器	床上～中心	2,100
電灯	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
	スイッチ	床上～中心	1,300
	コンセント（一般）	床上～中心	300
	コンセント（和室）	床上～中心	150
	コンセント（台上）	台上～中心	150
	コンセント（土間）	床上～中心	800
	ブラケット（土間）	床上～中心	2,100
	ブラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150
	身障者便所操作盤	床上～中心	1,100
	身障者便所スイッチ	床上～中心	600～1,100
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1500(上端1900以下)
	手元開閉器	床上～中心	1,500
	操作スイッチ	床上～中心	1,300
電話	端子盤	床上～下端	300
	保安器箱	天井下～上端	200
	取付位置ボックス	床上～中心	300
	取付位置ﾎﾞｯｸｽ(和室)	床上～中心	150

	名称	測点	取付高（mm）
火災報知設備	受信機・副受信機	床上～中心	800～1,500
	専用総合盤	床上～中心	800～1,500
	発信器	床上～上端	800～1,500
	ベル	床上～中心	2,300
	発信器標識灯	床上～中心	2,100
	ｶﾞｽ漏れ警報機(LPG)	床上～器具上部	300以下
	壁掛形スピーカー	床上～中心	2,300
	壁付音量調節器	床上～中心	1,300
拡声	表示器	床上～中心	2,300
	壁付発信器	床上～中心	1,300
	ブザー	床上～中心	2,300
	壁付押ボタン（一般）	床上～中心	1,300
	〃（身障者玄関）	床上～中心	900
	〃（多目的便所）	床上～中心	900/400
	電源箱	床上～中心	1,500
	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
	子時計	床上～中心	2,300
インターホン設備	壁付インターホン（一般）	床上～中心	1,500
	壁付インターホン(身障者)	床上～中心	1,100
	壁付位置ボックス	床上～中心	300
	壁付位置ﾎﾞｯｸｽ(和室)	床上～中心	150
テレビ共同受信	機器収納箱	天井下～上端	200
	直列ユニット	床上～中心	300
	直列ユニット(和室)	床上～中心	150

2．配線記号その他

※　図中配線で寸法記入のないものは、下記による。又、非環境対策型電線・ケーブルの場合はＶを追記する。(例 V.VF)

イ．　電灯設備の場合　電線管は　・ 薄鋼　・ ねじなし　とする。
1.6×2(19)　1.6×3(19)　1.6×4(25)　2.0×2(19)
1.6×5(25)　1.6×6(25)　H　HIV2.0×2(19)
F2　EEF1.6-2C　F3　EEF1.6-3C　F2E　EEF1.6-2C IE1.6
F4　EEF1.6-2C×2　F5　EEF1.6-2＋EEF1.6-3C　2F2　EEF2.0-2C　2F2E　EEF2.0-2C IE1.6
F6　EEF1.6-3C×2　F7　EEF1.6-3C＋EEF1.6-2C×2　2F3　EEF2.0-3C

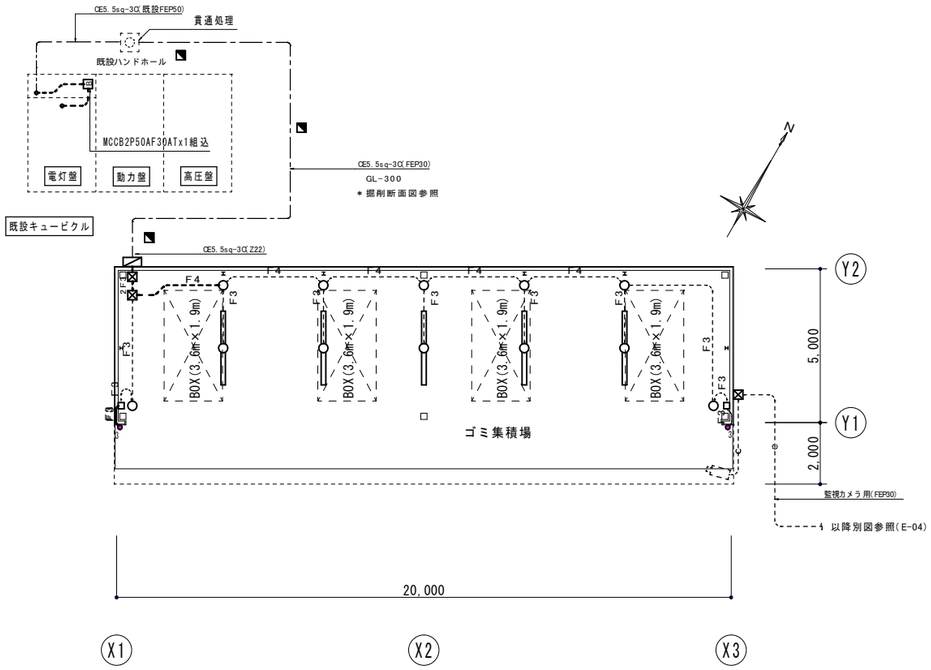
ロ．動力設備の場合　1.6×3(19)

ハ．電気時計・拡声設備の場合　1.2×2(19)　1.2×3(19)　1.2×5(19)

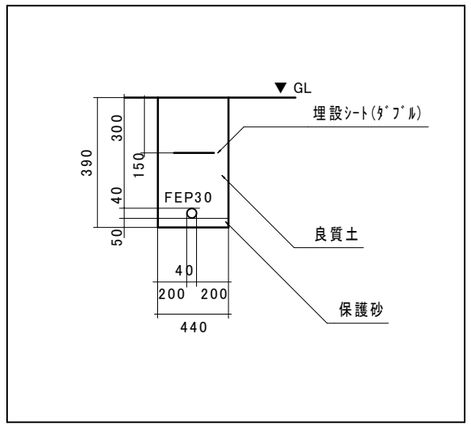
※　照明器具用設置ボックスの位置
・ 非常照明用白熱灯組込器具（電源別置）には、一般用及び非常用位置ボックスを設けること。

※　予備電源別置型の非常照明は、器具内の送り端子を使用時は、配線と同様に耐熱隔離を満足すること。
上記により難い場合は、分岐ボックスを設置し、端末配線処理を行うこと。

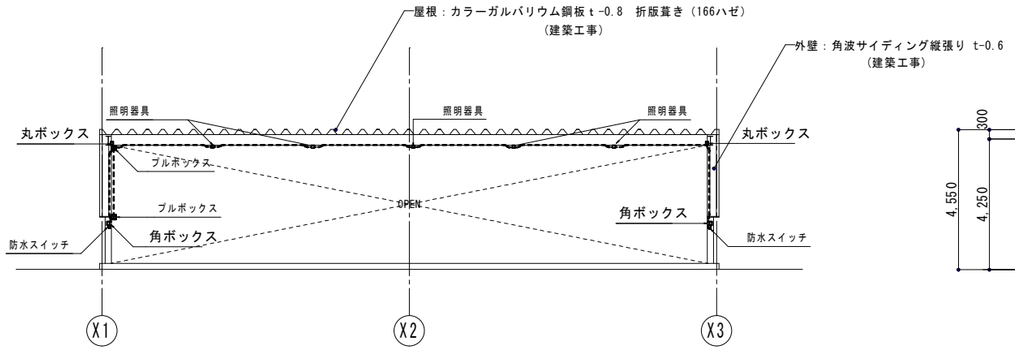
工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事									No. E－01
図面名	コンテナ置場_岡山市建築設備工事(電気)仕様書			縮尺	A1:N S A3:N S					
	岡山市市場事業部				令和７年１月					株式会社ＵＤＤ設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 岡山市北区表町一丁目３番１０号 Tel 086-233-2266　FAX 086-233-2262 一級建築士事務所登録　第第１２１４７号 一級建築士　第３７８８４９号 中田　智之
建築	課長	主幹	係長補佐	副主査	議員	担当者				
設備	課長	主幹	係長補佐	副主査	議員	担当者	承認	検図	誠図	



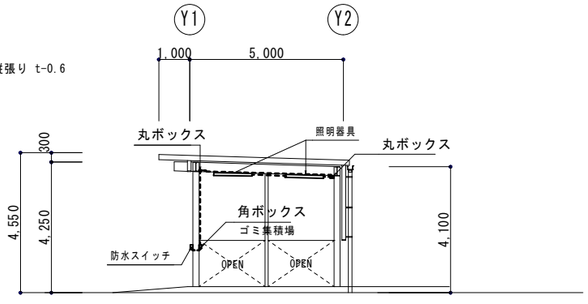
平面図　S=1/100



掘削断面図　S=NS



南側立面図　S=1/100



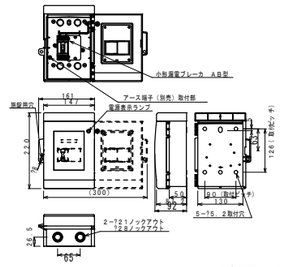
断面図　S=1/100

直付型４０形　防湿型・防雨型

LSS1MP/RP-4-64

一般タイプ、６９００ｌｍタイプ
消費電力４３．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
ＩＰ２３防湿型、昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３

ケースブレーカ防雨形　Ｅ型



参考型番　ＢＥＤＳ２０３１７

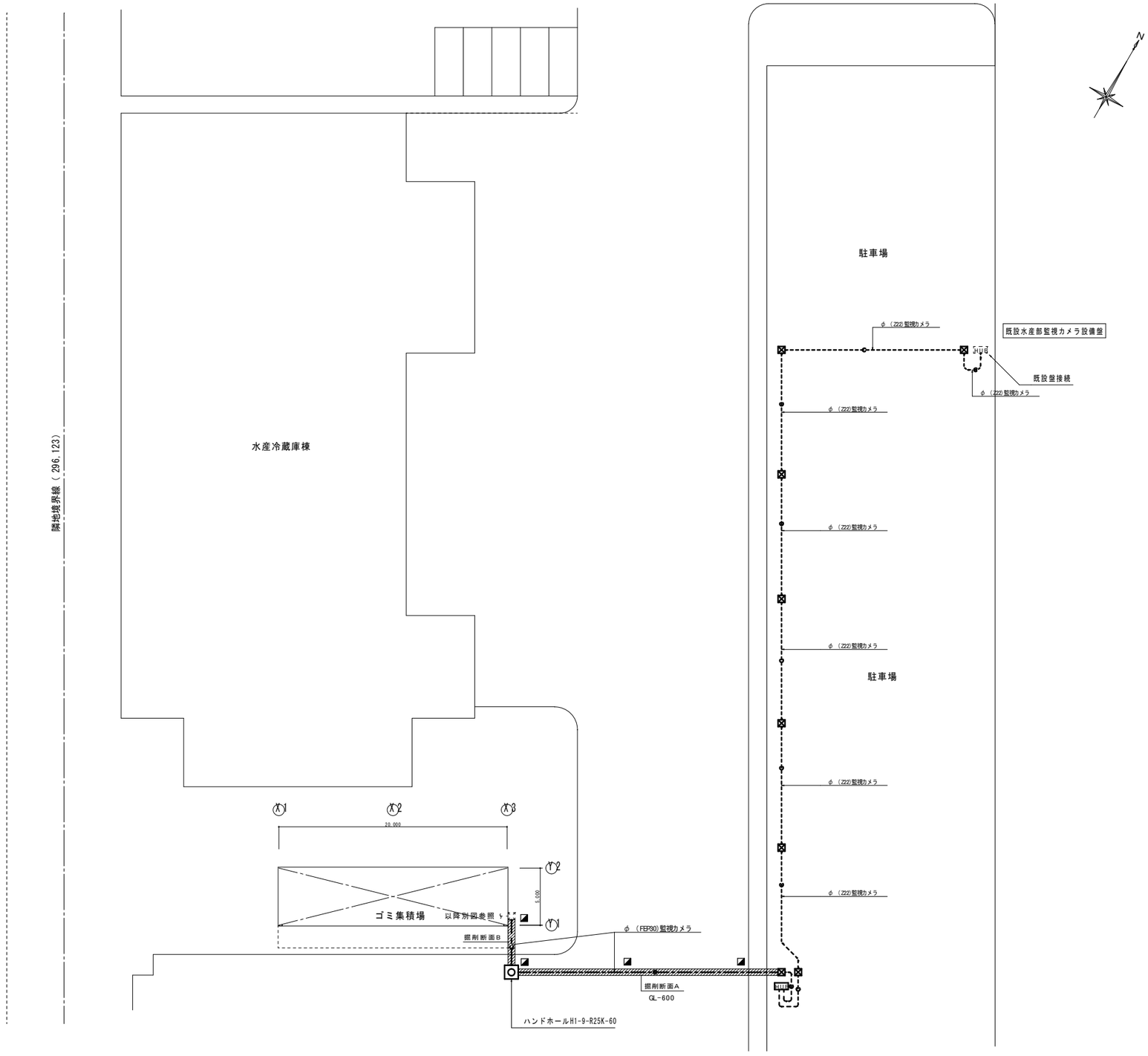
「配管配線凡例」
天井・壁隠蔽配管配線
床隠蔽配管配線
天井内コロガシ配線
露出配管配線

【凡例】	保護管	
本図で配管、配線サイズ記入なきは、下記による。	インペイ部	露出部/屋外
F3　EEF1.6-3C	(PF22)	(Z22)
F4　EEF1.6-2C x 2	(PF22)	(Z22)
2F3　EEF2.0-3C	(PF22)	(Z22)
監視カメラ用空配管 導入線1.2mm	(PF22)	(Z22)

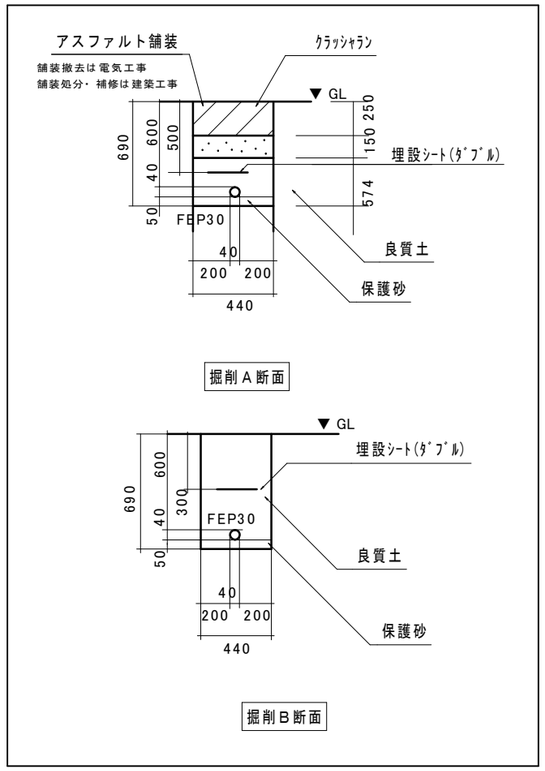
【機器　凡例】

記号	名称・適用
	手元開閉器 ELCB2P30AF20AT x 1　参考型番　BEDS20317
盤	配線用遮断器　MCCB2P50AF30AT x 1　キュービクル組込
	LED照明器具
3	防水スイッチ　3W x 1　(角形露出ボックス)
□	角形露出ボックス　一方出(Z22)
○	丸型露出ボックス二方出・三方出(Z22)
⊠	プルボックス PBSS150x150x150WP.SUS
	地中埋設標(コンクリート製)

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事							No.	E－０２
図面名	コンテナ置場電灯・監視カメラ設備平面図					縮尺	A1:1/100 A3:1/200		
	岡山市市場事業部					令和７年４月			
建築	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	株式会社U.D.D設計 岡山市南区泉田一丁目３番１０号 Tel:086-233-2266 FAX:086-233-2262 一級建築士事務登録　開第１２１４７号 一級建築士　第３７８８４９号 中田　智之		
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検図	製図



駐車場平面図　1/200



掘削断面図　S＝NS

＊掘削残土・撤去アスファルト処分及びアスファルト舗装復旧は、建築工事とする。

「配管配線凡例」
天井・壁隠蔽配管配線
床隠蔽配管配線
天井内コロガシ配線
露出配管配線

【凡例】	保護管	
本図で配管、配線サイズ記入なきは、下記による。	ｲﾝﾍﾞｲ部	露出部/屋外
監視カメラ用空配管 導入線1.2mm	(PF22)	(Z22)

【機器　凡例】

記　号	名称・適用
HUB	既設接続盤
HUB	新設屋外型HUB収納箱 参考型番THR30-77TDC-F
	プルボックス PBSS200x200x200WP.SUS
	ハンドホール H1-9-R25K-60
	埋設標示柱(コンクリート製)

工事名	岡山市中央卸売市場コンテナ置場新築工事			Ｎｏ．
図面名	コンテナ置場監視カメラ設備平面図	縮尺	A1:1/200 A3:1/400	Ｅ－０３
岡山市市場事業部			令和７年４月	

	課　長	主　幹	課長補佐	副主査	課　員	担当者
建築						

	課　長	主　幹	課長補佐	副主査	課　員	担当者	承認	検図	製図
設備									

株式会社U．D．D設計
株式会社ユー・ディ・ディ設計
岡山市南区金田一丁目３番１０号
Tel:086-233-2266　FAX:086-233-2262
一級建築士事務登録　岡第１２１４７号
一級建築士　第３７８８４９号
中田　智之

岡山市建築設備工事（機械）仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 場 所　　岡山県岡山市南区市場一丁目1番地

2 建 物 概 要

建 物 名 称	構　造	階　数	延べ面積（㎡）	消防法令別表１	備　考
コンテナ置場	鉄骨造	1	100.00㎡	１５項	

3 工 事 種 目　（○印のついたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別	工事種別 建物 コンテナ置場				
・ 衛生器具設備					
・ 給水設備					
⊙ 排水設備	○				
・ 給湯設備					
・ ろ過循環設備					
・ 消火設備					
・ ガス設備					
・ 空気調和設備					
・ 冷暖房設備					
・ 換気設備					
・ 自動制御設備					
・ 厨房器具設備					

Ⅱ 工 事 仕 様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和４年版（以下「標準仕様書」という）及び公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和４年版及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和４年版による。

2 特記仕様

1)　適用項目番号に○印のついたものを適用する。

2)　特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし○印のない場合は※印を適用する。

適用	項　目	特　記　事　項
①	機　材	岡山市公共建築課機器材料等指定名簿に規定するものとし、同等品とする場合は監督員の承諾を受ける。図示する品番・寸法・姿図及び形状は参考であり、製品及び製造所を指定するものではない。また、図示する形状及び配管などの取出し位置により、特定製造業者の製品を指示、選定しない。「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断基準、配慮事項を満たすものとする。
2	主任技術者等の資格	※　資格の区分　Ⅰ(1級管工事施工管理技士)、Ⅱ(2級管工事施工管理技士)　・適用しない
③	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きの費用はすべて受注者の負担とする。
4	技能士の適用	・配管施工（建築配管作業）　・熱絶縁施工　・冷凍空気調和機器施工　・建築板金技能士
⑤	工事用仮設物	※　別契約の関係受注者の定置する足場、さん橋の類は無償で使用できる。
⑥	土　工　事（埋設配管は23による）	イ）埋め戻し土は　・山砂の類　・根切り土の中の良質土 ロ）残土処分は　※　構外に搬出し適切に処理　※　As,Coは適法に処理すること　・構内敷均し　・構内の指示する場所に堆積
⑦	発生材の処理	引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　・　機器類　・　配管材料　・　）
8	説　明　板	監督員と協議のうえ、設備機器類（ボイラ、冷凍機、各種ポンプ、空気調和機など）及び一連の装置などの取り扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。
9	電気容量及び機器表示	イ）電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以上とする。 ロ）機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。
10	負　担　金	・給水引込負担金　（　※　別途　・　本工事） ・ガス引込負担金　（　※　別途　・　本工事）
11	電線・電線管	イ）特記なき電線は６００Ｖ耐熱性ポリエチレン絶縁電線とする。 ロ）特記なき電線管は薄鋼電線管又は監督員の承諾を得た場合は同一外径のねじなし電線管とすることができる。 ハ）可とう電線管は第２種金属可とう電線管とする。
12	機器付属の制御盤	標準仕様書によるほか下記による。 ・　遮断ブロック図に適合するものとする。 ・　ボイラ及び冷温水機等の付属盤の始動スイッチ二次側に、煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ・　接点及び端子は、仕様書を（　※　適用する。　・　適用しない。） ・　インバータ用の制御及び操作盤は、仕様書を（　※　適用する。　・　適用しない。）
13	塗　装	塗装業者は、　※　監督員の承諾する業者　・　日本塗装工業会会員
14	保　温	複管の内見えがかり部（戸棚等の内部を含む）は全て塗装を施すこと。（電線管含む） イ）保温の種別、材料、施工順序及び厚さは標準仕様書による。 ロ）保温材質は下記による。 ・　給排水、通気、ろ過循環　（・　ポリスチレンフォーム　・　グラスウール）（床下、屋外露出、暗渠内はポリスチレンフォームとする。） ・　給湯管、銅板製水槽、貯湯槽等　（※　グラスウール） ・　消火管　（・　グラスウール　・　ポリスチレンフォーム） ・　蒸気管　（※　ロックウール） ・　排気筒、煙突、煙道　（※　ロックウール） ・　空調設備配管、ダクト　（※　グラスウール） ・　排煙ダクト　（※　ロックウール） ・　排気筒　（・　ロックウール　・　グラスウール） ハ）屋内露出（　・　機械室　・　書庫　・　倉庫）の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に読み替える。 ニ）屋外設置機器の外装仕上げは（・　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・　溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛鋼板）とする。 ホ）屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは（・　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・　溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛鋼板）とする。 ヘ）ﾋﾟｯﾄ内配管の外装仕上げは（・　着色ｱﾙﾐﾎﾞﾗｸｽ　・　保温なし）とする。 ト）保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。 備考 １　屋内露出及び機械室、倉庫、書庫の配管にはバンド・菊座を取付けること。 ２　水槽類は特記のある場合のみ保温を行う。 ３　建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号に該当する防火区画などを貫通する給排水管及び通気管並びに消火管は貫通する部分及び前後1,000mmをロックウール保温材にて保温を施すか、建設省告示第1422号(平成12年)又は国土交通大臣認定の方法を適用すること。

一般共通事項

16	亜鉛鍍面下地処理	亜鉛鍍面の下地処理はエッチングプライマ塗りとする。
17	防振継手	・　鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304）　※　合成ゴム製 ・　ポリテトラフルオロエチレン製(3山)
18	フレキシブルジョイント	※　鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304）　・　合成ゴム製
⑲	はつり工事	既存のコンクリート床・壁等の貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
⑳	補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならい補修をする。
21	他工事との取合い	イ）鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強、その他天井のボード切込み及び下地の補強は　・　本工事　※　別途工事 ロ）コンクリート壁、床及び梁等における設備機器、風道、配管等の箱入れ及び貫通スリーブ部は　※　本工事　・　別途工事 ハ）機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線は　※　本工事　・　別途工事 ニ）別途盤類への渡り配線の接続は　・　本工事　※　別途工事 ホ）機器のコンクリート基礎　屋上設置のもの　・　本工事　※　別途工事 屋内設置のもの　・　本工事　※　別途工事 屋外設置のもの　・　本工事　※　別途工事 ヘ）自動制御の電線管は　・　本工事　・　別途工事 ト）自動制御の電線の配線は　・　本工事　・　別途工事 チ）自動制御盤と自動制御機器との配線の接続は　※　本工事　・　別途工事
22	配管表示	配管機器等は監督員の指示する箇所に文字矢印を記入し、弁にはプラスチック札を取付けること。札の文字等は彫り込みとし、SUSチェーンにて取付けのこと。
㉓	土中埋設配管周囲の保護	イ）管周囲の保護　※　山砂の類　・　根切土の中の良質土
	砂及び埋め戻し土・盛土	ロ）埋戻し土・盛土　※　根切土の中の良質土　・　山砂の類
24	埋設表示	イ）埋設表示テープ　※要（　※給水　※消火　※ガス　・排水　・圧送管）　・不要 ロ）埋設標示柱・埋設標示板（　※　要　・　不要）
25	支持金物、固定金具等	ポンプのアンカーボルト・ナット及びピット内等水気のある場所、屋外の機器・配管用の支持金物等は、ステンレス鋼（SUS304）とする。土中支持もステンレス鋼（SUS304）とする。
26	ポンプの電動機の極数	渦巻ポンプの電動機の極数は　（　・４Ｐ　・２Ｐ）
27	ポンプの名板	水中ポンプの名板は監督員の指示により見やすい所に取付けのこと。
28	保守工具	下記の保守点検に必要な工具一式を提出する。 ・ポンプ　・送風機　・吹出口　・梯　・その他
29	岡山市標準施工図	参照　※　する　・　しない
30	耐震措置	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風道などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 イ）機器の据付及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数と、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・特定の施設 ・重要機器	・特定の施設 ・一般機器	・一般の施設 ・重要機器	・一般の施設 ・一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機　器	2．0	1．5	1．5	1．0
	防振設置機器	2．0	2．0	2．0	1．5
	水 槽 類	2．0	1．5	1．5	1．0
中間階	機　器	1．5	1．0	1．0	0．6
	防振設置機器	1．5	1．5	1．5	1．0
	水 槽 類	1．5	1．0	1．0	0．6
地下・1階	機　器	1．0	0．6	0．6	0．4
	防振設置機器	1．0	1．0	1．0	0．6
	水 槽 類	1．5	1．0	1．0	0．6

・上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。

中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また一般機器とは重要機器以外をいう。

・災害応急対策活動に必要な施設等において、施設目的に応じた活動を行うために必要な設備機器

・危険物を貯蔵又は使用する施設において、危険物による被害を防止するための設備機器

・避難、消火等の防災機能を果たす設備機器

・火災、水害、避難の障害等の二次災害を引き起こすおそれのある設備機器

・その他これらに類する機器

ロ）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１/２とする。

31	スリーブ	※　亜鉛鉄板　※　つば付鋼管（水密部）　・紙　・硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・止水リング（　・　兼機物材質：水密部　・　有機物材質：水密部以外）
32	振れ止め	ダクト、配管等にあっては、標準仕様書の振れ止めの他必要な箇所に施工する。
33	道路使用	※　施工等で道路を使用する際は道路使用許可等の手続きを行うこと

衛生器具設備

1	大便器・小便器	陶製又はプラスチック製の注意板の取付けは　※　設計図による。　・　取付ける。
2	洗浄用タンク	※　防露形陶器製とする。　・　設計図による。
3	洗浄用タンク固定金物	※　ﾌﾟﾗﾝｼﾞｬ鋼定金物付とする。　・　設計図による。
4	大便器用洗浄弁	節水機構とする。
5	温水洗浄便座	温水洗浄便座は、次の機能を有するほか、JIS A 4422(温水洗浄便座)によるものとする。 ・　温風乾燥機能　・　脱臭装置　・　操作ボタン
6	陶器の色	監督員の指示による。

給水設備

1	盤水器	親メータは水道事業者からの借用、子メータは買取りとする。
2	盤水器桝	※　水道事業者の指定品とする。　・　その他
3	管類	下記のものは本仕様による。 イ）一般配管用 ※　水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・SGP-VB　・SGP-VD　・SGP-VA）　・水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 ・水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP　・HIVP）　・水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・ﾎﾟﾘｻﾞﾌﾞﾃﾝ管　・その他 ロ）土間配管、コンクリート壁中 ※　水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)　・水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管 ・水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・ﾎﾟﾘｻﾞﾌﾞﾃﾝ管　・その他 ハ）地中配管用 ※　水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VD）　・水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP　・HIVP） ・水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE)　・水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管　・その他 ニ）ピット配管用 ※　水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（・SGP-VB　・SGP-VD）　・水道用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE) ・水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（・VP　・HIVP）　・架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・ﾎﾟﾘｻﾞﾌﾞﾃﾝ管 ・その他

給水設備

4	ライニング鋼管接続	100Ａ以上の接続　※　ねじ込み接合　・　標準仕様書による
5	弁類	イ）公道水道に直結する配管に使用するものはJIS又はJV 10Kとする。 ロ）高置水槽以降の配管に使用するものはJIS又はJV 5Kとする。ただし、揚水ポンプに使用するもの及び特記部分はJIS又はJV 10Kとする。 ハ）65Ａ以上の鋳鉄製仕切弁、鋳鉄製逆止弁は、ライニング弁とする。50Ａ以下の仕切弁、青銅製逆止弁は管端コア付バルブとする。 ニ）埋設箇所は埋設用バルブとする。
6	定流量弁	取付ける。
7	水槽周り可とう継手	合成ゴム製（２山以上）
8	埋設深度	岡山市水道給水装置施工基準に適合する他図示による
9	ライニング鋼管管端処理	※　管端防食継手　・　防食コア　・　その他
10	散水栓ボックス	・　蓋はＳＵＳ製鋳付とする。
11	給水管の使用許可	※　給水管所有者に使用許可等の手続きを行うこと。
12	水質基準	水道法に定める水質基準を満たすことのできる管、弁、継手を使用すること

排水設備

1	屋内汚水管	・　便槽付属品　・　排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管　・　耐火二層管 ・　硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・　排水用硬質塩化ビニルライニング管　・　その他
2	屋内雑排水管	・　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管　・　耐火二層管 ・　硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・　排水用硬質塩化ビニルライニング管　・　その他
3	通気管	・　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）　・　その他
④	屋外排水管	※　硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ＶＵ）　⊙ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ＶＰ）　・　硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ｶﾗｰＶＰ） ・　耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（ﾎﾟﾘﾌﾞﾃﾝ圧送管）　・　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・その他
5	排水トラップ	ワン材質　（　・　樹脂コーティング　・　樹脂製　・　標準品）
⑥	ます	※　岡山市標準施工図　⊙ 塩化ビニル製ます　・　樹脂製ます ・　既製コンクリートます　・　その他
7	グリーストラップ	ＳＵＳ製残菜カゴを　・　取付けない　※　取付ける
8	マンホール銀	ＳＵＳ製鋳とする
9	共枠銀	ＳＵＳ製鋳とする
10	プール排水管	露出部は塗装仕上げとし保温しない
11	排水処理先	・　公共下水道（　・　分流式　・　合流式　）　・　合併浄化槽（　・　新設　・　既設　）　・　その他

給湯設備

1	管類	・　ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管（※ 拡管式　・　溶接接合　・その他）　・　銅管W形　（・保温付　・保温なし） ・　架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
		・　耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　・　内外面耐熱性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　・　その他
2	弁類	JIS又はJV 5Kとする。ただし、特記部分は 10K とする。
3	膨張水槽の保温	※　施工する　・　施工しない
4	給湯用簡易ボイラ	ガスバーナはガンタイプとする。
5	ライニング鋼管管端処理	ＳＵＳ製コア内蔵継手（100Ａ以上防蝕コア）

ろ過循環設備

1	ろ過装置	能力　・　60m3/ｈ　・　100m3/ｈ
2	ポンプ廻り配管	可とう継手　・　付ける　・　付けない 圧力計　・　付ける　・　付けない
3	循環配管	給水設備による。
4	弁類	給水設備による。
5	保温	プールサイド下部は　・　屋外露出仕様　・　床下暗渠仕様 プールサイド下部の室内は　・　屋外露出仕様　・　機械室・倉庫仕様　・　床下暗渠仕様

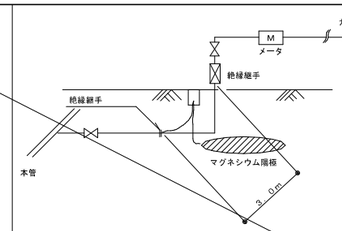
消火設備

1	屋内消火栓箱	・１号消火栓　（　※　国土交通省仕様　・　その他　） ・易操作性１号消火栓　（　※　国土交通省仕様　・　その他　） ・２号消火栓　（　・　ドラム式　・　リール式　・　その他　）　※　広範囲型２号消火栓
2	消火栓弁の副圧	最大使用圧力とする。
3	消火栓弁	送圧機構付消火栓弁を　※　取付ける　・　取付けない
4	保温	イ）配管の保温は　・　施工する　※　施工しない （屋外露出の保温種別は　e2・(ハ)・Ⅶ　による） ロ）呼水槽の保温は　・　施工する　※　施工しない ハ）充水槽の保温は　・　施工する　※　施工しない
5	フレキシブルジョイント	※　鋼製フランジ付ベローズ形（接液部SUS304）
6	消火ポンプ	※　ユニット型　制御盤はユニット組込みとする。　※　日本消防設備安全センター認定品とする。
7	管類	イ）一般配管用　※　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　圧力配管用炭素鋼鋼管（白管） ロ）土中配管用（土間を含む）　※　外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（白管） ・　消火用高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE)　・　その他

ガス設備

1	供給ガスの種類	・　都市ガス　（　※　13A　発熱量　46MJ/m3　） ・　液化石油ガス　（　発熱量　100.47MJ/m3　）
2	管	イ）一般配管用 ・　配管用炭素鋼鋼管　（　・白管　・黒管　） ・　ポリエチレン被覆鋼管　・　ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ロ）地中配管（土間を含む） ・　ポリエチレン被覆鋼管　・　ガス用ポリエチレン管 ・　塩化ビニル被覆鋼管
3	ガスメータ	※　メータはガス供給業者より借用、子メータは買取りとする。 ・マイコンメータ　・その他）
4	ガスメータの取付	※　本工事に含む　・その他
5	緊急遮断弁の取付	・本工事に含む　・その他
6	供給方式	・ボンベ　・バルクタンク
7	ボンベ周りの配管	※　自動切替式
8	プロパン庫壁貫戒機施	指定の箇所に取付ける
9	ボンベ転倒防止	※　岡山市標準施工図による　・　公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）施工73(b)
10	管の地中埋設深さ	・一般　300mm以上　・車両通路　600mm以上　・1,200mm以上
11	沈下対策措置	※　伸縮継手　・溶接配管　・機械的接合　・継手の組合せ
12	電気防蝕	※　なし　・　あり（　・　流電陽極法　・その他　）
13	耐震対策設計	耐震設計あたり「内閣府震設計マニュアル(一般建築用)平成11年10月」「高層建築物用ガス設備耐震設計・施工指針」の手引き昭和62年11月」いずれも社団法人日本ガス協会発行を参照する。 備考 １　埋設配管の継手部周りの防蝕処置は、標準仕様書　第６編第2章都市ガス設備2.2.5よりガス事業者の承認をる工法による。 ２　配管の吊り及び支持は絶縁処理を施す。 ３　塗装仕上げにおいて仕様書以外で必要な箇所は明記する。 ４　マグネシウム陽極の設置基準 ①　低圧埋設配管で溶接接合による100Ａ以上の鋼管部分の延長が3m以上ある場合は、絶縁継手を取り付け、さらにマグネシウム陽極（犠牲陽極）を設置する。

ガス設備



②　中間圧・中圧埋設配管の場合は埋設延長にかかわらず絶縁継手とマグネシウム陽極を取り付ける

③　その他埋設配管場所が酸性の強い土壌、腐蝕性の強い薬品を扱う工場敷地およびその周辺、湿地帯、海水の影響を受ける場所、鉱さい等による埋立地等、特に腐蝕性が強いと判断される場所の場合は、防食措置を別途検討する。

空気調和・冷暖房・換気設備

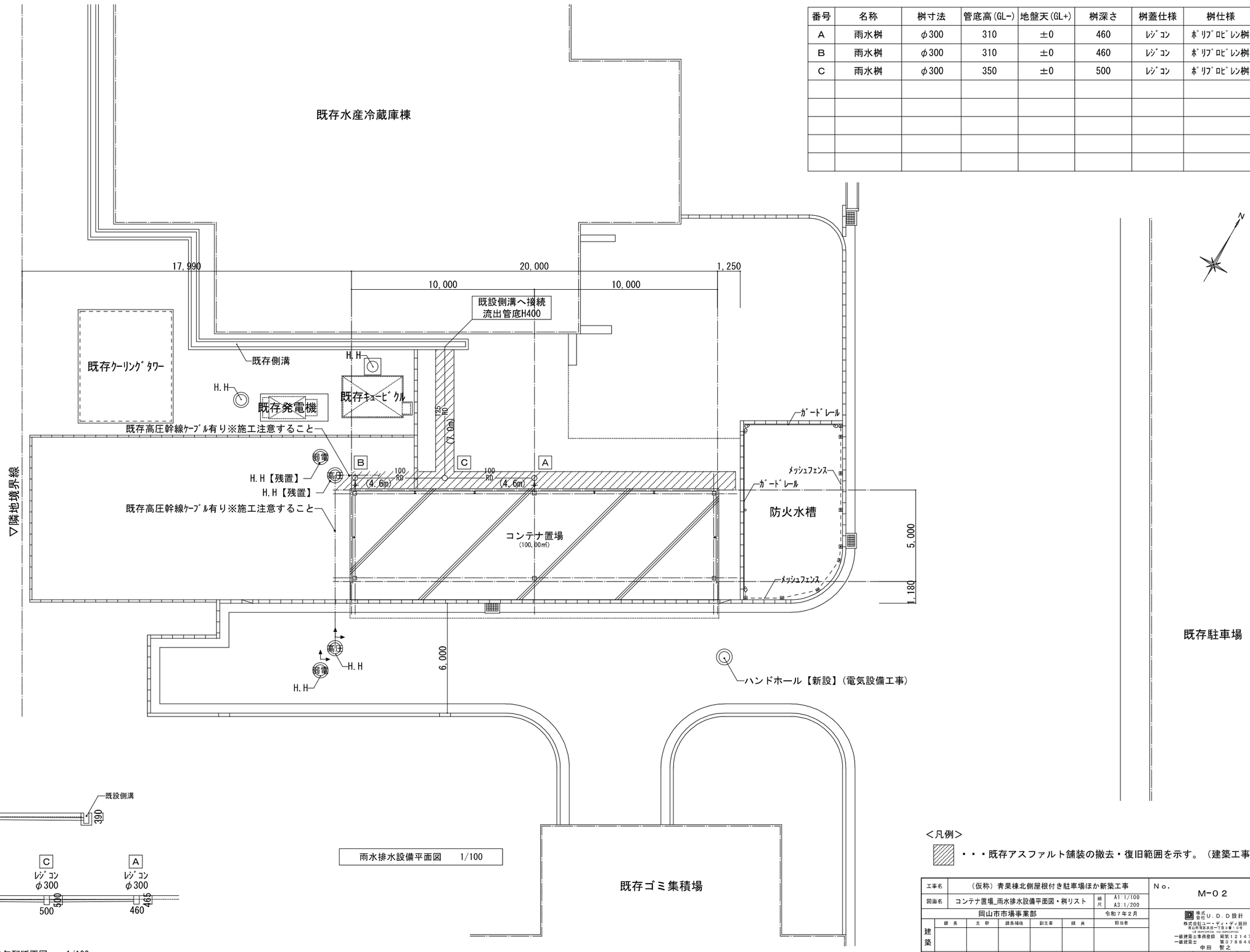
1	設計用温湿度条件（温湿度調整目標値）	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築設備設計基準（令和３年版）
2	冷水・温水・冷温水管	・　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管　・　高性能ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(HPPE)
3	ドレン管	・　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　ﾘﾀｲﾔﾌﾞﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管（RF-VP）・硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・　結露防止層付硬質塩化ビニル管　・　硬質ポリ塩化ビニル管(カラーVP)
4	冷却水管	※　塩化ビニルライニング鋼管　（　・　SGP-VB　・　SGP-PVB　）
		・　ステンレス鋼鋼管　・　高性能ポリエチレン管(HPPE)
5	膨張・空気抜き・補給水管	※　配管用炭素鋼鋼管（白管）　・　高性能ポリエチレン管(HPPE)
6	油管	・　配管用炭素鋼鋼管（黒管）
7	冷媒配管	※　断熱材被覆銅管（標準仕様書による）　・　機器の標準品（保温共）
8	弁類	JIS又はJV 5K とする。ただし、特記部分は 10K とする。
9	ファンコイルユニット	イ）・　流量調整弁を取付 ロ）・　定流量弁（　・　ダイヤフラム式流量可変式　・　カートリッジオリフィス形）取付 ハ）遠方操作スイッチの渡り配管　・　本工事　・　別途工事 ニ）遠方操作スイッチの渡り配線　※　本工事　・　別途工事 ホ）遠方操作スイッチのプレートは金属製とする。 ヘ）ドレンパンは　・　ＳＵＳ製　・　鋼板製　・　合成樹脂製
10	吹出口・吸込口	枠及びスリットの材質は ※　アルミニウム製　（　※　着色する　・　着色しない）
11	ダクト	イ）低速ダクトとする。 ロ）矩形ダクトは、　・　アングル工法　・　コーナーボルト工法 ハ）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。
12	防煙・防火ダンパ	防煙ダンパは、　※　電気式　・　空気式 ダンパ復帰機構は、　※　遠隔式　・　手元式 電気式防煙ダンパ動作用電圧、電流はDC24V、0.6A以下とする。
13	風量測定口	取付位置は図示による。材質はアルミニウム製とする。
14	吹出口チャンバ	イ）シーリングディフューザ形吹出口には、下記のチャンバを設ける。 ネック径が200の以下　400×400×250H ネック径が200を越えるもの　500×500×300H ロ）外壁に面するパラリにチャンバ等を設ける場合には原則として排水を設ける。
15	消音内貼り	イ）シーリングディフューザ形吹出口接続チャンバ及び図示したダクト並びにチャンバ類とする。 ロ）内貼チャンバ類の寸法表示は、外形寸法とする。 ハ）吹出口以外の内貼しチャンバには点検口（450×500）を取付ける。
16	換気風量計	形式はピトー管式（コックハ）とする。取付は図示による。
17	温度計	標準仕様書及び図示の箇所のほか、下記の箇所に取付ける。 ・　温水ボイラの温水管入口部 ・　空気調和機廻りの還気風温、外気風温及び給気風温 ・　冷温水管寄せ（往）及び冷温水熱源寄せの各還り管 機器付属以外の温度計は　※　円形のバイメタル式（100φ以上）　・　ブルドン管式
18	冷温水管の空気抜き	イ）空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。　※　手動　・　自動 ロ）自動空気抜き弁にはストレーナを取り付ける。
19	防振吊り金物及び防振支持金物	中央機械室の冷却水管・冷温水管等の吊り及び支持は、防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
20	温度調節器・湿度調節器	取付高さは　※　1,300mm　・　mm
21	エアフィルタの予備品	イ）空気調和機又はフィルタチャンバ装着枚数の50%以上を予備品（枠付）として納める。 ただし、自動巻取形の場合は100%とする。 ロ）ファンコイルユニットは機種毎に30%以上、また、空冷ヒートポンプ室内用は100%に当たるフィルタを予備品（枠付）として納める。　最低１枚とする。
22	グリスフィルタの予備品	※　100%に当たる予備品を納める。　・　納めない。
23	防振基礎	イ）送風機の防振基礎（防振ゴム使用の場合）の絶縁効率は　　%とする。 ロ）ポンプの防振基礎（防振ゴム使用の場合）の絶縁効率は　　%とする。
24	冷媒配管の保温カバー	イ）屋内露出部の保温化粧カバーは（・　樹脂製　・　ｶﾗｰ亜鉛鉄板　・　その他）とする。 ロ）屋外露出部は（・　ステンレス鋼板　・　樹脂製化粧カバー　・　溶融アルミニウム亜鉛鉄板　・その他） ・
25	保温	イ）全熱交換機の（・　給気ダクト　・　排気ダクト　）は保温する。 ロ）還りダクトは保温　・する。　・しない。 ハ）ポンプは保温　・する。　・しない。 ニ）ポンプ回りの防振継手、フレキシブル継手は保温　・する。　・しない。 ホ）換気ダクト（・　給気ダクト　・　排気ダクト）は保温する。
26	スリーブ	エアコン本体は将来工事のあ、スリーブ（樹脂製キャップ付き）のみ今回工事とする。
27	冷媒等の処理	※　業務用機器「第一種特定装置」のフロン類はフロン排出抑制法に従って処理すること。 ・　家庭用機器（・　室外機にフロン回収後、取外し指定場所保管　・　本工事対象外） ・　吸収式冷温水機（・　産業廃棄物広域認定制度　・　産業廃棄物） ・　吸収式冷凍機の吸収液（・　産業廃棄物広域認定制度　・　産業廃棄物）

工事名	（仮称）青果棟北側屋根付き駐車場ほか新築工事					No. M-01
図面名	コンテナ置場_岡山市建築設備工事(機械)仕様書				縮尺	
岡山市市場事業部					令和７年２月	株式会社Ｕ．Ｄ．Ｄ設計
建築	課長	主幹	課長補佐	副主査	係員	担当者
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	係員	担当者　承認　検図　製図

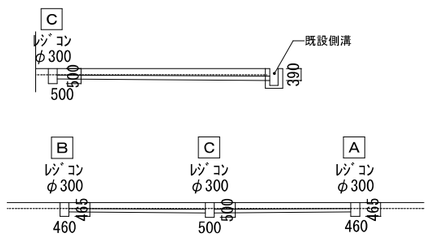
株式会社ユー・ディ・ディ設計
岡山市南区西市一丁目３番１０号
TEL(086)264-2434 FAX(086)264-2432
一級建築士事務所登録　岡第１２１４７号
一級建築士　第３７８８４９号
中田　智之

桝リスト

番号	名称	桝寸法	管底高(GL-)	地盤天(GL+)	桝深さ	桝蓋仕様	桝仕様
A	雨水桝	φ300	310	±0	460	ﾚｼﾞｺﾝ	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ桝
B	雨水桝	φ300	310	±0	460	ﾚｼﾞｺﾝ	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ桝
C	雨水桝	φ300	350	±0	500	ﾚｼﾞｺﾝ	ﾎﾟﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ桝



雨水排水設備平面図　1/100



排水勾配断面図　1/100

＜凡例＞

・・・既存アスファルト舗装の撤去・復旧範囲を示す。(建築工事)

工事名	(仮称)青果棟北側屋根付き駐車場ほか新築工事							No. M-02	
図面名	コンテナ置場_雨水排水設備平面図・桝リスト				縮尺	A1:1/100 A3:1/200			
岡山市市場事業部						令和7年2月			
建築	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	株式会社U.D.D設計 株式会社ユー・ディ・ディ設計 岡山市南区西市一丁目2番1-19号 TEL:086-261-7000 一級建築士事務登録　第12147号 一級建築士　第378849号 中田　智之		
設備	課長	主幹	課長補佐	副主査	課員	担当者	承認	検図	製図